

# 因幡志

氣多郡上

十一

和書門			
二九二八六	二八六	二八	二
號	函	架	冊
類			

內閣文庫			
二九二八六	二八六	二八	二
號	函	架	冊
類			

地五三

內閣文庫		
番號	和	29286
冊數	33	( 12)
函號	175	105



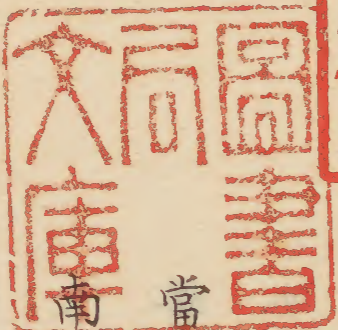
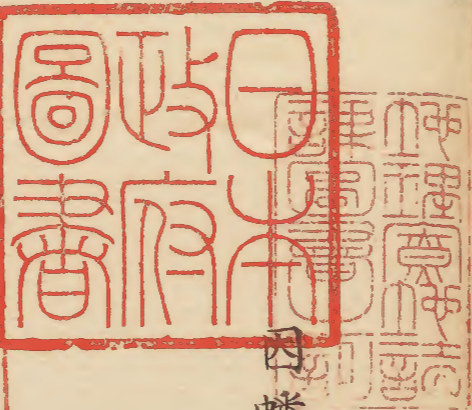
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak





因幡志卷之九 本

内一〇九九二號

因府侍醫安倍 惟親 恭庵編

郡郷之部

氣多郡

當郡ハ高草郡ノ西ニ雙テ伯耆國ノ東ニ隣ヲナス  
 南ニ鷲峰山アリ其西ノ谷ヲ河内トイフ土俗鹿奴  
 河内ト称スル是ナリ其土地鷲峰山ノ後南ニマハ  
 リテ八上郡曳田郷ニ境ヲナスツマリハ知頭郡佐  
 治郷ト伯耆國河村郡ト突合タル其カギリテ河内  
 山トイフ鷲峰ヨリ東ハ末用谷ニテ木入道ヲ詰ト

ス是高草ノ境ニテ野坂ノ河内ヨリ下ハ矢矯ノ無  
毛山洞谷ノ峯通母木ノ中坂ヲ限トス西ノ方伯耆  
国ノ境ハ河内ニ佐谷峠滑石坂ノ嶮アリ次ニ勝部  
郷桑原村ニ川上越ノ坂アリ次ニ緒見保長和瀬村  
ニ西坂アリ北ハ一面ニ海ナリ而シテ滑石坂ノ山  
脊南ヨリ北ヘ十カレテ海ヘ入其ワタリ三里余十  
リ是ヲ長尾山ト号ス氣多ノ中位ニ在テ是ヨリ東  
西方位ヲ分テ大坂勝見坂本ノ方ヲ山東トイヒ日  
置勝部緒見ノ方ヲ山西トイフハ長尾山ヲ標準ト  
スル當郡ノ十ラハシナリ郡ノ大高草ニ次之其地

形大凡方ニシテ南ハ狭北ハ廣シ海濱ノ東西母木  
ヨリ長和瀬ニ倒テ三里余南北ハ河内ヨリ姉泊ノ  
海マテ三里半ニアマレリ神書ニ大己貴命稻羽ノ  
八上姫ヲ婚シトオボシテ氣多ノ崎ニ到リタマフ  
トアレハ氣多ノ郡ト号スルハフルキ名義トエ  
タリ  
一 和名鈔氣多郡下曰大原坂本口沼勝見  
大坂日置勝部以上  
一 或記曰大原今此名ノ西ナシ鹿野ノ奥ニ上原下原  
原并乎ナドイフ西アリシカレハ此辺ノナナルベ

シロ沼今此名ノ所ナシ勝見湯村ヨリ濱ノ方ニ近  
代マテ大ナル澤沼アリイツノホトニカ切ウツメ  
テ今ハ田土ニナリ沢ノ所今ワツカニユレリ此  
辺ノ所ニ昔アリツル村落カ地形此名ヲモムキ  
ニカナヘリ又今ノ日光ノ地ニテモアルカ此所ム  
カシハ大ナル沢ナリ書ノ次第ハ此所ニアタレリ  
ト

按ニ和名鈔一國ノ下ニ郡ノ名ヲ注シ郡ノ下ニ  
注スルハ郷ノ名ナリ本朝古制國ヲ以テ郡ヲ  
新スベ郡ヲ以テ郷ヲ紀ル是ナリ當郡ノ下ニ所謂

大原口沼今其所不知トイヘ凡其餘存在ノ地名  
アリ坂本勝見大坂日置勝部等ナリ此地名ヲ以  
テ和名鈔ノ所載ト合考ニ郡ノ東ノ端ヨリ西ノ  
方ヘ一谷々々ノ名ヲ順ニカヅヘテ書タルナリ  
其ハシメニ大原次ニ坂本トアリ坂本ハ母木ヨ  
リ南ヘイル谷ノ総名ナレハ大原ハ其東ノ地十  
ルベシ坂本ノ東ハ小澤見内海ノ辺ナリコノ地  
今ハ高草郡ニ屬シテ末恒保ト号ス中古マテ氣  
多ノ郡内ナリシトフルキ記録ニエタレハ此  
トコロ大原ノ古地ナラムカ又坂本ノ次ニ口沼

次ニ勝見トアレバ口沼ハ坂本谷ト勝見谷トノ  
中間ニアルヘシ然レハ日光谷ノトナルヘシ民  
談記ニモ兩説ヲアゲテ地形ハ勝見湯村ノ辺カ  
トイヒ書ノ次第ハ日光ノ地ニアタレリト注セ  
リ其他モトムルニ取ナシ又民談記大原ハ鹿野  
ノ奥ニ上原下原原井手ナドイフ取アリ此辺ノ  
トナルベシトイブカシ鹿野ノ奥ニ其云取ナシ  
上原ハ山宮村ニ相ナラムテ鹿野ノ西ニアリ下  
原ハ濱手ヘタタリテ八幡村ニトナレリ兩村共  
ニ大坂谷ニアツテ鹿野トハ谷チガヒナリ殊ニ

上原ト原井手ト別村ノヤウニカキタルモアヤ  
マリナリ上原原井手ハ一村ノ名ニテ本名原井  
手ノ上村ナリワレテ畧シテ上原トイフトゾ右  
ニ云和各鈔ノ地名ハ下谷々々ノ名ヲカキタル  
ナレバ大原ノ大原郷ナリ大坂モ是ニオナジク  
大坂谷ノ總名ニテ大原トハ別地ナリシカレハ  
其所ニ原ノ字ノ付タル村落アリトテ是ヲ大原  
ノ旧迹トハ察シガタシ  
一或問内海小沢見ノ辺今其土地ヲミルニ南ハ山重リ  
北ハ海ナリ大原称スヘキ廣野ニモアラス如何答テ

曰往事ハカルヘカラス懐橋談大原野ノ條下ニ曰大  
原トハ田一十町バカリノ平原ナリ故ニ大原トイフ  
古ハ田十町バカリヲ大ナリトス今郷里ノ戸口ヲミ  
ルニ人民ノ蕃息尤モ大ナリトシカレハ今土地ノ廣  
狹ヲ以テハ論シカタシ又問フ今日日光谷ヲシテ沼  
ノ古地トサス片ハ和名鈔古本<sup>ニツカウ</sup>日江ヲ沼トウワシ  
アヤマリ後世クキヌマノ仮名付シタルモシルヘカ  
ラス口沼アレバ奥沼モアルヘキ事ナルニ其名ノ十  
キハ不審答テ曰非ナリ凡郷村里ノ名ニ奥口上下差  
別ヲ称スルハイニシヘノ制法トモ考ヘガタシ今日

置郷勝部郷ヲノク奥中下ヲ分テ三郷トシ勝見ヲ勝  
宿郷トアラタメ上下二郷ニワカテリ其類國中每郡  
ニ在テスクナカラス是等ヲ以テ明察スベシ相傳フ  
日光ノ地往古ハ襄海ニテ難波磯或ハ左<sup>カ</sup>幾<sup>ヨリ</sup>与利湊ト  
称シケルトコレヲオモフニ口沼ハ奥口ノ口ヲ称ス  
ルニハアラサルベシタゞ其湊口ノ名ニシテ此谷ノ  
総名ナラムカタトヒ奥ノ方ヲ奥沼トイフトモ和名  
鈔ノ取載ハ一名一郷ナリ古今傳写ノアヤマリ諸書  
スクナカラズトイヘドモ口沼日江ノ一説ハ蛇足ヲ  
添タリト謂フヘシ

一民談記曰當國ニムカシヨリ云傳ル郷保庄之記一通  
アリ是ハ八上郡方河内六郎左衛門トイフ者所持ナ  
リ此内今絶タル所或ハ今ノ制法ト午ガヒタル所  
是ヲ尋記シ真ニ書付ルナリト  
氣多郡十八

- 坂本郷 大坂郷 大原郷
- 光元保 宮吉村 大澤見
- 恒松保 富吉村 末用村 保共
- 恒末村 宇津見 勝見郷
- 日置郷 姫地村 鹿野村

勝部郷 鷲峰社 青屋村

恒末 今此名ノ所オシ今気多高草ノ境伏野内海沢  
見ノアタリヲ末恒保トイフ此所ナラシカ気多高草  
ノサカヒ今多ク混乱ストミヘタリムカシハ此辺気  
多ノ内トミヘタリ此記ニ大沢見宇津見ヲ気多ノ内  
ニイレリ○宇津見 今内海トカク今ハ高草ノ内十  
リ○青屋村 明德記ニハ青屋庄トミヘタリ<sup>以</sup>  
又按ニ此記録今ハ鳥取<sup>イモシ</sup>治工坊ノ町人米屋治三郎  
トイフモノ、家ニアリ方河内六郎左衛門近年没  
落シケルニ因テ其一族タレハ所持ストイヘリ右

村名ノ内宮吉トイフ所今ハナシ土人口碑ニ母木  
酒津辺ノ総名ヲ宮石トイフ是ハ氏神板井ノ神社  
ハ方六尺余ノ石ヲ以テ形代トス故ニ宮石ノ神ト  
イヒ土地ノ字モ其コトノモト、イヘリ此説ニヨ  
ツテミル氏ハ宮吉トカキシハ宮石ヲアヤマリシ  
モノカシカレハ母木ノ古名ナラン又天正年中吉  
川元春勝宿明神へ青銅寄附ノ證文アリ今度宮吉  
城頓ニ落去トカケリ其外陰徳太平記等宮吉ノ城  
ノコト出タレハ宮吉トカキ來レルモ亦久シオモ  
フニ後人石ト吉ト和訓相ナカキヲ以テ板井ノ神

躰ニ附會シテイフモ知ベカラスニ義変シガタシ  
トイヘトモ凡地名ハ神社ノ名ニモトツクモノ多  
ケレバシバラク土人ノ説ニ從フベシ

一又曰寛文年中アラタメ記セシメラルハ郷村ノ名  
左ノ如シ

氣多郡 八十箇

- 一 勝部下郷 三村 青屋 今ハ 向 芦崎村 今下 井午村
- 一 勝部中郷 四村 苔川村 亀尻村 山田村 北原村
- 一 勝部真郷 七村 鳴滝村 八葉寺村 田原谷村 紙谷
- 一 楠根村 澄水村 桑原村



一日置下郷四村 上青屋村 露谷村 大平田村 小平

一日置中郷四村 山崎村 養郷村 奥谷村 大坪村

一日置奥郷五村 藏内村 早牛村 山根村 河原村

小畑村

一 緋見保二村 長和瀬村 緋見村

一 母木保五村 母木村 酒津村 奥澤見村溝尻 富吉村

常松村

一 下光本庄六村 下光本村 戸嶋村 馬場村 塚午村

西分村ニシノ 廣本村

一 鹿野庄四村 閑野村 末持村 水谷村 鹿野

一 坂本郷五村 宿村 片山村 重高村 二本木村 下

坂本村

一 勝宿下郷九村 濱村 小谷村 傍所村カマ 湯村 福田

村 梶掛村 重山村 岡井村 木梨村

一 勝宿上郷五村 中園村 妙見村 寺内村 今市村

玉川村

一 殿村郷七村 河内村 鷲峰村 小別所村 殿村 下

石村イシ 飯里村 原井午上村

一 八幡郷十村 山宮村 橋詰村 新宮村 高下村 高

江村<sup>エゲ</sup>會下村<sup>エゲ</sup>下原村<sup>エゲ</sup>八幡村<sup>エゲ</sup>姫路村<sup>エゲ</sup>日光<sup>エゲ</sup>  
村以上

一 按ニ右記録ノ内母木保五個村ノ母木ヲ新古二箇  
村ニ分テ六ヶ村トシ鹿野庄四ヶ村ノ内水谷ヲ鹿  
野ノ内ニ属シテ新ニ小畑村ノ名アリ坂本郷五ヶ  
村ノ内片山ヲ土居村トシ八幡郷十ヶ村ノ内姉ヶ  
泊村ヲ増テ十一ヶ村トス又勝宿下郷九ヶ村ノ内  
傍所トカキタル村名今ハ十ニ但レ沢田村ヲ入レ  
九ヶ村トス以上八十二ヶ村ナリ且ツ傍所村何ト  
訓タル村名ニヤ傍ノ字彙字典等ニ見ヘスイフ

カシ仔細沢田村ノ下ニ見ヘタリ

母木保

五ヶ村今増新町為六ヶ村

母木新町驛

戸數四十餘軒

一 衆氏神板屋大明神

在大澤見村

一 御制札場

役馬十五疋

一 求橋

母木坂ノ西ノ海濱ニアリ伯耆街道ノ馬駅ニテ高草

ノ小沢見ヨリ二十七町余トス但シ郡塚坂ノ峠ヨリ

二十一町十リ其間ニ母木坂アリ母木ハ新古両村ア

リ昔ハ此街道ニ民屋十ク母木村ハ街道ノ南ニアリ

此地ハ宝永二年ハシメテ馬駅二十五坐ヲ定メラル  
其比鹿奴ノ町衰替セシカハ鹿奴新町ノ土人彼地ヲ  
轉シテ此地ニウツリ旧名ヲ呼テ新町村トスソレヨ  
リ母木ヲ古町トイヘリ此駅ヨリ西ノ濱路ニ鹿野川  
ノ下流アリ此駅ニテハ母木川トイフ板橋アリ是ヲ  
一求橋トス

一求橋 母木川ニ掛レル橋ナリ一求ハ人ノ名ナリ昔  
ハ此川ニ橋ナク行人徒涉リス砂川ナレハ川ノ廣狭  
水ノ深淺モ定カナラスヤ、モスレハ行人難儀ニヲ  
ヨビケルナタビクナリシカハ元文中一求トイフ

道心者癸願ノ功カヲ以テハシメテ此橋ヲツクレリ  
故ニ其名ヲ呼テ橋ノ名トス一求ハ伯別松崎ノ住人  
俗名源六毎ニ酒ノ津浦ニ來テ魚ヲ荷テ渡世ヲナス  
其往来朝暮此川ヲワタルニ諸人ノ患ヲナケキ村民  
ニ相議シ橋ヲカケレトテハカレドモ不成源六止事  
ナク卒ニ法心ヲ癸シ倉吉ノ大蓮寺トイフ寺ニ入テ  
圓頂黒衣ノ道心坊トナリ一求ト改名シ諸方ヲ勸化  
シ竟ニ奉行所ヘウツタヘ免許ヲ蒙リ此川ト濱村ノ  
勝見川トニケ西ニ橋ヲツクリ渡シケリナヲモ後代  
不易トナサント因伯ノ在々ヲ勸化シ元米二十石ヲ

取集テ役所へ納メ此利米ヲ以永代ニケ取ノ橋ノ修  
補料トナシ下サルヤウニ愁訴ニヨツテ今ニ母木村  
ヨリ年々ノ破損ヲ修造セリ信実殊勝ノ道心ト謂ツ  
ヘシ一求後ニ此里ハヅレ一町半バカリニ草庵ヲム  
スビコレニ住シテ一生托鉢ノホカ世ノ交リナク寛  
延三年三月十五日ニ身マカリケルト庵室ハノコリ  
テアリシカ宝曆二年八月十日ノ洪水ニ流レテ其迹  
今ハ川原トナリス

母木村

戸数三十余軒

氏神板屋大明神 在奥沢見村  
祭日

雲谷山大龍院 曹洞禪本寺備中国  
母木山洞玄寺

寺領四石五斗四升

古城二 大碓城  
古河城 砦一 号湊山

新町ノ南ニツ、ケリコレ母木ノ古地ナリ里諺ニ云  
母木ハモト<sup>トカ</sup>村ナリ往古此処ニ梅ノ大樹アリ竟ニ  
呼テ里ノ名トス中比コノ地ノ人其風俗皆無道ニシ  
テ<sup>トカ</sup>科人ヤム<sup>トカ</sup>ナカリシカバ時ノ人<sup>トカ</sup>梅ト科ト和訓同  
シケレバトテ<sup>トカ</sup>梅ノ字ヲ分テ母木ト改書シケルト其  
母ノフルカブ近キ世マテ大龍院山下田圃ノ中ニア

リシ由口ノ徑リ七八尺形狀岩ノ如クナリシカ田土  
耕農ノ夕メ年々ウ午コボキテイマハ其死アキラカ  
十ラス  
酒津村樽谷

戸數百七十軒余  
氏神板屋大明神 在大沢見村

龜ノ宮

觀音堂本尊觀音 木佛立像長三尺年代不知年代古  
昔正月六日出現於此浦因幡順礼

嶋山ノ名 夷嶋 二七番礼死也  
社子辨天島 有社 赤嶋前島高嶋

有春日 鶺鴒 疊寫 觀音嶋 烏帽子島 灣嶋

中將嶋 大巖 松影山 湊山 有岩之迹

母木坂ノ海子ノ谷隘ニアリ但シ坂ノ半途ニ分レ道

アツテ其ヨリ通シテ三町バカリナリ母木ヨリ東

へ八九町海岸ノ岨道ヲ往来スサレドモ海荒ケレハ

怒浪路ヲ没シテ通路ヲ絶ツカツ其土地隘ク山腹ヲ

キリナラシテ段々ニ家ツクリ又専ラ漁獵ヲ業トセ

此地モトハ樽谷トイフ亀井氏郡主ノトキ海辺ニ

谷トハ相應ナラストテ樽ノ縁ニ松テ酒ノ津ト改名

アリシトイフ孤村ナレトモ荒磯ノ風景奇勝ナリ東

ニ突出タル山ヲ松影カ鼻トイフ西ノ鼻ヲ湊山ト号

天正年中大崎城主植土佐石衛惠比須嶋辨天島谷  
祭神有テ名トス春日ヲ祀ルヲ高嶋トイフ亀井氏ノ  
勸請トキコエタリ澳ニ烏帽子嶋アリ形十風折ノ烏  
帽子ニ似タリ于浮ニハ嶋根平砂トナリ海藻ノ類品  
品有テ好メル人ハ酒ヲクニ自ラ得之佳肴トセリ此  
島ノ辺ニ昔ヨリ大亀住テ嶋ノ左右ヲハナレズ甲ニ  
ハ牡蛎貝ノ類取ツキ青苔ヲ帯フ其大サ方一大モ  
アラント其外嶋々ノ名怪石巨岩其カズク書シルス  
ニ暇アラス神書大己貴命ノ故事ニ所謂気多カ崎ト  
ハ此辺ノ事ナリト云傳ヘタリ此浦船カ、リ宜シカ

カラス東西北風ニハ船一艘モ泊シカタシ南風ノミ  
ヤスシトイヘトモ小船四五艘ノ外ハツナクベカラ  
ストイフ是ヨリ海上加露ノ津へ二里半葦崎ノ淡へ  
三里ナリ

亀之宮 神跡青白ノ玉石ナリ其形圓ク圍ニ二尺七寸  
三分重サ三十六斤トイフ此宮ハ別封摂津守君ノ  
創建ナリ享保元年勝見御入湯ノトキ御姫君御同道  
ナサレ四月二十一日此浦御遊覽アリテ漁人ニ網ヲ  
ヲロサセラル時ニ一ツノ亀網中ニカ、リキタレリ  
大サ甲ノワタリ三尺六寸横二尺八寸高一尺二寸其

躰相ヨノツ子ナラス是神亀ナラン精靈ヲ齋テ国土  
豊饒ノ守護神タラシメントテ亀ヲハ臆テ海中ニ放  
キヤリ此処ニ小社ヲ建ラレ亀ノ宮トアガメ玉ヒシ  
トゾ其遷宮五月六日トカヤ神躰何ニカセシト評議  
マキヒタルヲリフシ此浦人出雲国日御崎ノ神前  
ノ海中ヨリ釣針ニカ、リシトテ一ツノ奇石ヲ取カ  
エリケル間カ、ル時節ニユソ此石ノ釣ノ線ニカ、  
リキタレルモ不思議ナレ是神亀ノ感應ナラントテ  
即チ其石ヲ形代トナシ玉ヒケル今ノ神躰コレナリ  
ト云傳ヘタリ

中将嶋 湊山ノ磯ニアリ此嶋ノ名ハ寛文延宝ノコロ  
此辺ニ一人ノ道心者有テ自ラ中将ト称ス氣多高草  
ノアイタヲ托鉢シテ日ヲ送レリ毎ニ酒ヲ好ミ醉テ  
ハ山野ニ起卧シテ定マレルスモカモ十ク丐食ノ境  
界ナレトモ天質無欲ニ道心堅固ナリシカ負享元年  
三月十三日トカヤ此嶋ニ來テ死ス或ハ其已レカ死  
期ノ時日ヲ察シ因ニ告之立ナカラニ死ストモイ  
フ因テ中将嶋或ハ往生嶋トモイフト然ルニ近年<sup>ホ</sup>充  
倉<sup>ッラ</sup>ヲ建テ若宮ト号ス是ハ其比母木ノ里ニ兩國梶之  
助トテ名譽ノ角カ取アリ幼名ヲ弥太トイフ中将渠



レヲ愛スル事兒孫ノ如シ弥太ヤキ稍長ナリ九額ノ角ヲ  
入レ名ヲ中將ニ乞フ中將カレヲ梶之助ト名テ曰今  
日ノ祝儀ノ證ニ何カセン然レトモ我ニ寸鉄尺木ノ  
世賊ナシ汝子幼キヨリ角カヲ好ム引予物ニハ他一  
倍ノ力ヲアタヘ得サスヘシタトヒ我死後タリトモ  
何国如何ナル人ニ立向フトキ一タヒ我名ヲ念誦セ  
ハ心ス勝事ヲ得サセント子ムゴロニ誓約ス果シテ  
梶之助因伯兩州角カニ敵スルモノナク終ニソノ名  
天下ニ赫著セリ是中將カ誓言ノタガハサルノ不思  
議ト云テ角カヲ好メルトモカラ中將ヲ祭テ若宮ト

アガメ勝負ヲイノルトイヘリ梶之助ハ宝永五年五  
月二十四日ニ死ス墓ハ母木坂西ノフモト万人坑ハカハラノ  
中ニアリ

富吉村

戸数十九軒 辻堂阿弥陀

氏神牛頭天皇 祭日九月九日

古城

母木ヨリ入ル南ノ谷八町ニアリ眞ハ光本坂本両谷  
トワカレテ鹿野ノ町へ通ス村ヨリ湊へ十五町二十  
七間ナリ村ノ東ニ古城アリムカシ城主ハ田公氏別

卷注ス

常松村

戸数三十三軒

氏神

薬師堂

号東福寺本尊茶師長

行基作

母木谷ノ東側ニアリ富吉ノ上九町十リ當村辻堂ノ

茶師ハ行基ノ作トイヘリ土人口碑ニムカシ行基僧

諸国巡歴ノトキ當郡ニ於テ一木ヲ彫刻シテ茶師ノ

佛像七躰トシ郡中亦ニ寺ヲ建茶師ヲ安置シテ

本尊トス當所ノ寺ヲ東福寺ト号ス此其六番十リ然

二中古乱逆諸寺皆頽廢シテ各辻堂ニ安セリ今ニ傳

下ヘテモ七佛茶師ト云ハ其故十リト

大澤見村

東後尾西後尾長十代

戸数五十六軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神板屋大明神 祭日九月九日 神領四石五斗八升

延喜式神名帳載之板井神社是也 別卷神社考ニ詳也

有池 号水後池東西三町四十五間南北五

坂本谷ノ東ノ谷隘十リ此谷ヲ水後谷トイフ常松ヨ

リ北一山越十六町十リ母木ヨリ十五町其間ニ小坂

アリ 町長四村ヨリ高草ノ御熊村へ二十町其間ノ坂ヲ

佛峠トイフ五町長十氣多高草ノ境ニテ峠ニ誌ノ立石

アリ難所十リ凡立石為徑界之誌土池アリイナシ鯿蜆等

多クシカレドモ腸嗅ク下呂十リ出村ヲ水後村トイ

フムカシハ東後尾西後尾トテ池尻ノ東西ニアリ今

ハ東後尾ノミ十リ今此地ヲ奥沢見トイフハ大沢見

ノアヤマリ十リ古記ニ大沢見トアルハ高草ノ小沢

見ニ對スル十リ小沢見ムカシハ氣多郡ニ属ス

光本庄 六個村

下光本村 大杉持木山崎 三軒屋

戸數五十八軒 辻堂二阿弥陀観音 穢多村十軒

氏神新宮大明神 祭日九月九日

同 猪大明神 祭日

観音堂 母木大龍院持

古城二 シリフリ山城一名堤知光城

常松ノ上十五町ニアリコレヨリ奥廣木マテ六ヶ村

ヲ光本ノ庄トイフ此谷ハ母木ノ枝谷ニテ當村街道

ヨリ西ノハナレ山在山崎村ヨリニ谷ニワカレテ西

ヲ坂本谷トイフ東ハ當村光本谷トイフ鹿奴ノ東へ

通テ末持谷ノ川脉ナリ東側大杉ト持木トノ間ヲ東

へ越レハ高草ノ御熊村ノ上ヲイワル是ヲ岡谷越

トイフ西郡ノ境ニテ持木ヨリ峠マテ十四町峠ヨリ  
御熊谷へ六町十リ

戸嶋村 ハザマ

戸數十二軒 辻堂 本尊 茶師

氏神戸嶋大明神 祭日 九月九日

光本谷ノ西側ハナレ山ノ南ノフモトニアリ下光本

ノ山崎村ハ此山ノ北ノ腰ヲメクリテ兩村山ノ前後

ヲ抱ク其間六町十リ

馬場村 上垣

戸數十五軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神六王權現 祭日 九月九日

古城 在上垣

戸嶋ヨリ三町街道ヨリ東側ノ山下ニアリ村ノ後ニ

古城アリ馬場村トイフハ昔當城主馬ヲ責ケル馬場

ノ迹トイフ仔細別卷ニ見ユ

塚子村

戸數六軒 辻堂 本尊 観音

氏神八幡宮 祭日

馬場ノ上ニ隣ル其間三町也或ハ戸嶋馬場塚子以上

三村ヲ束テ上光本村トス今庄宮每村ニ在テ上光本

ノ称ヲ失フト  
廣木村

戸数十二軒

氏神白山權現 祭日九月九日

塚子ノカミ三町ニアリ光本ヨリ鹿奴ヘノ往還道十

西分村

戸数八軒 辻堂 本尊 毘沙門天

氏神午頭天王 祭日九月九日

古城

廣木ヨリ十二町西ノ山下ニアリ其間ニ羽田川アリ  
但シ此山モハナレ山ニテ戸嶋村ト羽田川ヲヘダテ  
テ南北ニ相對ス村ノ後ニ古城アリ其後ハ坂本谷ニ  
テ宿村ノ勝嶋明神ノ社アリ其レヨリ南鹿野ノ方ヲ  
妙光寺山トイフ

鹿野庄 四個村

閑野村

戸数二十三軒 辻堂 本尊 大日如来

氏神稻荷大明神 祭日九月九日

西分ノ南妙光寺山ノフモトニアリ鹿奴ノ北ノ口ニ

テ廣木通シテ十五町十リ其アヒタニ羽田川アリ此  
ヨリ奥ヲ鹿野谷トモ末持トモイフ當ル蘿蔔ノ名物  
十リ

鹿野

戸數東町百三十余軒 鉢屋村十一

上絆屋町小屋人町登町殿町新町是十リ

同 西町二百二十軒余

下町鍛冶町山根町大工町是十リ

御制札場在東西町界 牢獄在登町

氏神勝鳩大明神在宿村祭日九月十九日

同 勝宿大明神在寺内村祭日九月廿一日

同 住吉大明神在水谷村祭日九月二十日

社領一石八斗二升

少林山讓傳寺在町外南山之麓曹洞禪本寺防州月光山恭雲寺

寺領三十四石九斗四升八合

有亀井武藏守茲矩之位牌並遺物數種

占城キヤン 唐織陣羽織今為 金爛八大袈裟 水晶

珠數 獅子尾拂子或日 鏡ハナ 鉢ハチ 梅檀葉蟹甲之香

盆 天狗之尻 駒角等也各別卷

境内有各古墳

鹿奴殿之墓

在竹林中碑銘漫滅相傳曰鹿野城閑祖橋氏之墓

澤應常山大居士

年号不知相傳曰木梨村藤山城主木戶豐後守父之墓

般翁宗昌居士

在庫裡上慶長十年二月二十日

龜井之家臣湯九郎左衛門祖父之墓

慧逢壽林信女

慶長二十年三月十八日湯九郎左衛門祖母之墓

我叟勝全大居士

在山中俗名松平玄蕃頭慶長十七年四月二十日

或曰山中鹿从亡父之墓

凌恭山雲龍寺

在愛宕山麓曹洞禪本寺讓傳寺

寺領三十六石九斗三升七合

有松平石京大夫綱政君之位牌後事見後条

施無畏山觀音寺

在緋屋町真言本寺高野山親王院

本尊聖觀音

緣起日寬弘年中殿村郷士紀氏郷息女櫻姬之作事具引卷

寺領六石二升四合

境内有築山泉水石入君所作也

西向山浄土寺

右曰西真宗本寺京西本願寺寺領三石三升二合

鹿野山妙光寺

右同所日蓮宗本寺京本禪寺寺領二石一斗一升一合

有石入君御一門之位牌

蓮葉院殿

國清院殿

花光院殿

大雲院殿

天性院殿

秀光院殿

雪窓院殿

解脫山光輪寺

鹿野山幸盛寺

本尊阿弥陀

幸盛寺之額

布施仙林寺之半鐘

境內有山中鹿叢之墓

石入君御息女良姬君  
正保四年十月十八日

在鍛冶町真宗本寺京西本願寺  
寺領一石六斗一合

寺領一町淨土本寺京智恩院  
運慶湛慶兩作也旧出雲国湯

氏一黨護持尊也事具別卷

龜井茲矩

銘曰明應六年丁巳  
五月三日別卷因之

並日野五郎之墓各見  
後各見

神光山盛德寺

地頭山三光院

本尊藥師領二斗六升

觀音領一斗九升

燈明領一斗四合

庚申堂

修驗福本院

毘沙門堂

觀音堂

鹿野名義

在町外本寺雲龍寺  
曹洞禪本寺雲龍寺

院在下一町真宗修驗持三宝

領五斗四合

領一斗九升

領一斗四合

在大工町右同汎修驗十午院持  
門札曰當山世義寺和光院

在下町同汎

在水谷村

在同所号岩見山法龍寺本尊千午觀音因幡  
順礼三十一番札所也堂領米六俵

恒河跋提河以下皆同



古城 杉原土圍

石入君館舎之迹 同月見之亭

東照宮之旧迹

石入君御内室之墓

同 御息女之墓

湯次郎右衛門元辰墓

小式部産湯水之廢迹

獅子舞山

櫻谷観音寺之旧迹 在櫻谷

靈龜山大應寺之旧迹 在水谷

山名源七郎之墓 並岩村某殉死之墓 在同所

土産

杉原 美濃紙 色紙 階田 同粉入 菅笠

関野ノ南八町ニアリ此口ノ町ヲ緋屋町トイフ 鹿野之良

光本谷ノ通りナリ宿村ヨリイルヲ鍛冶町トイフ北

坂本谷ノ通りニテ光本谷ト山ヲヘダテ、西ニ属ス

本母木之谷也 洞谷口ヲ小屋人町トイフ 巽末用村ヨ

リ通ス水谷ヨリイルヲ殿町トイフ南河内口ハ大工

町坤ノ枝道ニアリ大工町口ハ乾勝見谷ノ湯村道ニ

テ今市村へ通ス此間ニ川ニツアリ 今市方ヲ 玉川ト云

鹿野恒河カワカ一各流トイフ町屋小路十町南北ニ亘リ東  
西ニ長シ御制札場ヲ畧テ二構トス東分西分ト云旧城下ノ  
名残ニテ町外田圃ノ字モ呉服屋町鉄砲屋的場弥次  
右衛門橋堀清藏屋鋪トト云アリ惣シテ町並奇麗ニ  
農高相半ス古城ハ妙見山ニアリ王舎城ト号ス鹿野  
氏ノ武士代々居住セリト其草創ノ時代明カナラス  
中比山名家當國守護職ノ中其幕下ニ属セリト然ル  
ニ天文年中鹿野入道其ノ時雲州ノ尼子晴久ノタメ  
ニ滅亡シテ無主ノ廢丘トナル其後永祿中國ノ屋形  
山名源七郎トイヘルカ當郡鎮護トシテ布施ヨリ後

住アル時ニ畔臣武田高信ト云者毒殺之シテ又無主  
トナレリ山名家日ヲ追テ衰替シ天正ノ初ニ至テ一  
國過半藝州毛利家ノ命ヲ奉セシカハ其比ノ屋形豊  
國薙髮号ノ息女ヲ初メ家臣トモノ人質ヲシテ毛利  
ノ宇ヨリ當州ノ城ニ籠置毛利ノ番兵一千余人是ヲ  
固メタリ同八年秀吉公未伐有テ一番ニ此城ヲ追落  
シ人質ヲ其マヽニ取トトリシメキ亀井新十郎ヲ大将トシ  
テ守警セシム其明九年秀吉公一國平均ノ後城ヲ居  
ナリニ亀井氏へ下サレ當郡一万三千石宛行ハル爰  
ニ於テ亀井ハ武藏守ト改名有テ城普請等經營セラ

ル慶長五年関ヶ原一乱ノ後東照宮ヨリ高草郡ヲ  
御加恩アリテ二郡ノ主トシテ三万八千石ノ城下ト  
ナル城内城外今ノ町小路ノアリサマハ其中ノ普請  
ノ迹トイヘリ同十七年武藏守殿卒去アリシカハ子  
息豊前守政矩其家ヲ督セラル其トキ又五千石於伯  
州久  
米郡御加増ヲ賜リ都合四万三千石領知セラレ城下  
モ弥繁昌ナリシ元元和三年召命ニ因テ亀井家封ヲ  
石州津和野へ移サル父子二代在城三十七年ナリ同  
年光政君因伯兩州管領シ玉ヒケル其トキ一國一城  
ノ外持城制禁ノ公命ニ因テ當州ノ城モ却シ捨ラレ

タリタ、シ長臣日置豊前守此州ヲ知行シケル故山  
下ニ居宅ヲ設ケタリト十六年ノ後寛永九年御國換有テ  
御當家御入国ナル同十六年松平石見守輝澄君後薙  
髮号  
石人真禪故有テ當州一万石ヲ領シ播州ヨリウツリ  
君御叔父  
玉フ館舎ノ地ハ城山西ノフモトニテ築山泉水等ノ  
アト今ニノコレリ斯テ二十余年ノ後寛文二年卒去ナサ  
レ御嫡子能登守政直君御家督ノトキ播州粟賀へ皈  
リ玉ヒテ其後スム人ナカリケレバ空山草木長シテ  
蕪歌牧笛ノ声ノミナリ然レトモ昔ノ遺風ニヤ惣シ  
テ人ノ風俗優長ナリ農商コモミナリトイヘトモ

諸道ノ細工人等有テ何事カグ<sub>一</sub>十ク別府ヲ十セリ  
産物モ数種アリ中ニモ管笠ヲ業トスル者半ニスグ  
古人狂歌ニ<sup>ナニナリコロ</sup>雨ニキル笠ナラナクニ鹿野ナル何七<sub>ル</sub>  
笠縫ノ里トナシヨミケルトゾ其製作鹿呂ナレドモ  
風流ハイニシヘニカハラス鹿野笠トテ國中専ラ交  
易ス當國方言物縫ノ鹿略ナルヲ七<sub>ル</sub>飛ト云ハ此笠  
ノ縫ヤウノ故事ト聞エタリ民談記畧曰山ヲ鷲峰ト  
イヒフモトヲ鹿野トイヘル<sub>一</sub>何ノ世ニ名ケムルニ  
ヤ故アル名称トモ面白ク覺ヘ侍ル近比ノ領主亀井  
殿文字ノ才覺有テ多クノ物ノ名トモヲ改メタマフ

故ユレモ亀井殿名ツケ玉フトイフモノアレドモ神  
名記ニ鹿野社ノ名アリ又古キ記ニ鷲峰トモアレ  
ハ往古ヨリ久シキ名トシヘタリ鹿野ヨリ上ノ川ヲ  
恒河トナツケ下ヲ跋提河トイフユレモ所ノモノハ  
亀井殿名ケ玉フトイヘトモ三名ニ十佛國ノ名称ナ  
レハ昔ヨリイヒキタレルナルヘシ但シ鷲峰鹿野ノ  
二名ニヨリ川ノ名ハ亀井殿ツケ玉フトモ有ヘキカ  
ト以上

又按ニ鹿野ト云里州内ニヶ所<sup>ハ上郡曳田</sup>郷鹿野村<sup>ナリ</sup>當  
所鹿野ハ或ハ志加奴或志賀野皆鹿野ノカ<sub>一</sub>十書テ

奴野ハ音通ナリ

恒河 鹿奴ノ西ノ口ヲナガル、ヲ恒河トイヒ或ハ流  
砂川トモイフ源ヲ鷲峰山ノ後南河内谷ニ發シテ鷲  
峰村ノ下ニテワカレテ二派トナル西ノ一派ハ小川  
ニテ勝見谷へ通ス東ノ一派ハ鹿野ノ方へナガレテ  
玉川村ノ上ニテ又二派トナル西ノナガレテ玉川ト  
ナツケ東ノナガレテハ鹿野ノ西ヲ下ル恒河コレ十  
リコレ玉川村ノ下ニテ一ツニ合シテ宿村ノ方へ十  
ガル、ナリ

政提河 此川ハ鷲峰山ノ北ノフモト水谷ノ小畑ヨリ

流レテ鹿野ノ東町小屋人ヲ横流スル是ナリ此川ニ  
カ、レル石橋ヲタバコ橋トイフ末ハ宿村ノ上ニテ  
恒河ト一ツニナル其所ヲ落合河原トイフ川ハバ廣  
ク宿村ノ向フ勝鳥明神ノ山下ヲメクリテ戸嶋山崎  
ノウシロニテ羽田川末用川ニ合シテ其以下一派ト  
ナリ水勢山崎山ノ後麓ニテタル其源ヲ山崎洲トイ  
フツレヨリ二本木坂本ノ前ヲ通りテ母木ノ西ノ濱  
路ヲヨコキリテ海ニ入ル惣名ハ鹿奴川ニテ或ハ其  
所ニテ坂本川トイヒ又母木川トモイフナリ土人  
口碑ニ河内川昔ハミナ勝見郷ニ落ケケルヲ亀井殿

ノトキ母木ノ海ヨリ坂本谷へ船ヲ通サントノ目論  
ニ因テ玉川村ノ下ヨリ宿村ノ方へ切落サル故ニ武  
藏川トモイフト落合河原モ其トキヨリノ名ト因へ  
タリ然レトモ其事終ニ不成トイヘリ按ニ民談記鹿  
野ヨリ上ノ川ヲ恒河トナヅケ下ヲ跋提河トイフト  
イブカシ鹿奴ノ地ニテ上下トイフハ東ヲ上トシ西  
ヲ下トスタトヘバ東ノ町ヲ上町トイヒ西ノ町ヲ下  
町トイフニテ知ルベシ然レハ民談記所謂東ノ川ヲ  
恒河トシ西ニアルヲ跋提河トスは大十儿齧齧ト謂  
フベシモシツレ川上川下ヲイフナラハ一河ニ二名

ヲ称スルニテ是モ亦マナガヒナリ想フニ編者其土  
地ニ到ラス傳聞ノアヤマリナラシ又此川ノ名モ近  
代ノ義ニアラス治暦年中七十年代後冷泉院御宇年号當所施無畏  
山観音寺ノ寺譜ニ驚峰鹿野雙林恒河跋提河等ノ名  
ミヘタレハ往昔故アル名義十ルヘシ  
古城 鹿奴ノ南三町ハカリニアリ妙見山ト号スル  
是モ佛国ノ名称ナレハ驚峰鹿野ノ名ト、モニ名ケ  
ケルニヤ按ニ施無畏山観音寺ノ寺譜ニ驚峰鹿野恒  
河跋提河ノ名ハ出タレトモ王舎城ト号スルナシ或  
ハ當城ハ中古山名氏ノトキ當郡押エノ出城トイフ

説モアレハ後未黄吻ノトモカラ附益之イフニヤ未  
分明猶別卷ニ委シ

杉原土圍 幸盛寺ノ境内ヲイフナリ天正ノハシメ藝

州毛利家ヨリ妙見山ノ城ヲ人質曲輪トシ番兵ヲ居

テマモラセケルヲ秀吉公未伐ノ初メニ先ツ此城ヲ

追落シ人質ヲ取ト亀井新十郎ニカレコレ大将五六

人ヲコメオキ其身ハ播州へ皈リ玉フ時ニ杉原播廣

守盛重備後國神也毛利ノ名ヲ兼リ妙見山ヲ取返サ

ント人数ヲ立テ攻之ヲノトキ此所ニ土圍ヲツキ陣

ヲ張シアトナリ寺ノ後圍万人坑ノ石垣ハ其構ノ終

トイヘリ又此裏田土ノ森ノ中ニ盛重荒神ト号スル

ホコラアリ或説ニ盛重此所ノ合戦ニ討死シケルカ

其怨念依草附木ノ精靈トナリテ此辺ノ人ニ崇ヲ十

シケル故ニ一社ノ神ニ祝ヒ祭リケルト按ニ陰徳太

平記天正九年十二月廿五日病死ノト委シクニエタ

リ墓ハ母木ノ近縣富吉村ノ山上ニアリト何レカ是

ナルヲ知ラス

山中鹿双幸盛之墓 幸盛寺本堂ノ内ニ口左側ニアリ

石垣方一間許高サモ凡ソ同シ其上ニ無縫塔ヲ安シ

テ臺石ニ法名ヲ彫刻ス為幸盛寺殿潤琳居士天正十

一癸未七月二日沙門城蓮社照誓上人建立ト鹿女ハ  
雲州富田城主尼子家ノ浪士ナリ此地ニ墓ヲ築ル  
ハ亀井武藏守殿由緒アツテ其誌ヲ殘サレシナリ其  
仔細ハ武藏守殿モ旧尼子家ノ被官ニテ初ハ湯新十  
郎国綱ト云レカ十七歳ノトキ當国ニ落来リ近縣山  
宮村村井覺兵衛トイフ百姓是モ雲州浪人ナリシカ  
ハ其家ニ養レ居ラレケルトキ鹿女ハ出雲ヲ去リ丹  
後但馬ヲ経回リ當国ヲ横行ス素ヨリ智勇武策類ヲ  
ヌキ剛果人ニ越當国ニ入テ後城ヲ落ス一十三ヶ所  
ナリト新十郎古傍輩ノ因アルヲ以テ鹿女ニ隨ヒ所

所ニ戦功アリ鹿女其勇氣ナル振舞ヲ称譽シ巳カ女  
ヲ以テ娶之此女子実ハ尼子ノ一族亀井某トイフ人  
ノ女ナリ亀井早世シテ其妻女娘ヲ俱シテ鹿女ニ再  
嫁セリ鹿女新十郎ヲ婚トナシ亀井ノ家ヲ再興セリ  
爰ニ於テ湯氏ヲ改メ亀井新十郎ト名ノラレケルカ  
終ニ氣多高草兩郡ノ主ニ封セラレ是偏ニ鹿女カ後  
見ノ恩德ニヨレリト幸盛没後追感ノ志止事ナク新  
ニ寺ヲタテ鹿女カ字ヲ呼テ幸盛寺ト号シ自筆ノ額  
ヲカ、ゲ遺髮ヲ葬埋シテ永ク報恩謝德ノ追善ヲ修  
セラレシコソ誠ニ殊勝奇特ノ一トモト謂フヘシ按



ニ鹿叡ハ天正六年七月二日備中国河部川ノ阿部ノ  
ワタリトイフ所ニテ毛利輝元ノ討予ニ謀リウタレ  
タルノ諸書ニ見タリ今此石碑ノ年号トハ相違ナリ  
此寺ハ文禄元年自天正六年  
十五年後創建ナレハ石碑ヲ建タ  
ルトキノ年号トモ見カタシ不審宝曆年中古碑ノ銘  
ノ写シヲミルニ碑碣ハ五輪ニテ臺坐ニ幸盛寺殿潤  
琳淨了居士鹿長十三年二月二十五日沙門城蓮社照  
譽上人建立トカケリ然レハ今ノ無縫塔ハ宝曆以未  
ノ造リカエニテ慶長ヨリ宝曆ニ至テ百四五十年ノ  
星霜ヲ経タレハ文字漫滅シテ年数ヲ誤リ記シタル

モノカ照譽上人トイヘルハ當寺開山ノ住持ナリ此  
石碑何トシテ武藏守殿造立ナクテ照譽ノ建ケルハ  
故アル事ニヤ但シ初ノ石碑ハ武藏守殿建立ナリシ  
ヲ破損シテ照譽コレヲ再建セシニヤサテ又亀井殿  
ハ禅宗ニテ讓傳寺ノ大祖越ナレニ其寺ニテハ此事  
ナク別ニ淨土ノ新刹ヲ立ラレシト鹿叡ハ淨土宗門  
ニテアリシ故ナラン此墓ノ周辺古墳ハ鹿叡家来ノ  
者氏ノ石碑ナリトイヘリ  
日野五郎之房墓 是モ同所本堂ノウシロ万人坑ニア  
リ其所ヲ杉原土圍トイフ北ノ角三圍餘ノ松下ニ五

輪ヲ安ス高四尺二寸臺石ニ高譽壽性居士文祿三年  
十一月二十五日ト彫刻ス文字半ハ漫滅シテ明カニ  
ニカタシ是モ尼子右衛門督晴久麾下ノ勇士十リ尼  
子没落ノ後當国へ流浪シ日ヲ送リケルカ文祿元年  
郡主亀井氏朝鮮へ癸向ノトキ之房末用村牛房山ニ  
私城ヲ設ケ亀井ノ留主ヲ侵シ寺社ヲ破リ宝物ヲ乱  
妨セシカハ其明二年亀井殿飯朝ノ後塩谷氏大塔  
寺氏等ヲ討テトシテ牛房山ヲセム之房防戦ストイ  
ヘトモカトハス終ニトリコトナリ赤坂ノ振分トイ  
フ在洞谷西麓其ニテ首ヲハ子ラレタリ其死骸ヲ

葬リモナリ後大平記曰秋宅庵之トキ一ハナリニ日野五郎ハ能美  
郡へ討向ヒ七百余騎ニテヒカヘタリト或説ニ庵之  
ニトイフハ日野五郎カ仮名ニテ別人ニアラス山中  
鹿ニ同侶ニテ十勇ノ助名ヲ立タル其一人ナリ是ヲ  
尼子ノ十ニト称ス十ニトハ山中鹿ニ秋宅庵之ニ  
寺本生死之ニ尤道理之ニ今川勉之ニ菽中荆  
之ニ横道兵庫之ニ小倉胤之ニ植田草草苗之  
ニ深田泥土之助是ナリ晴久ノトキ四万騎ノ中ヨ  
リ千騎ヲ撰ヒ千騎ノ中ヨリ百騎ヲエラヒ百騎ノ中  
ヨリ大勇十騎ヲ撰トカ、ル拔群ノ勇士ナレトモ尼

子ノ家運ツタナクコノ地ニ戮セラレケルヲシイ  
カ十

精林院賀屋珠慶尼妙之墓 右同寺ニアリ五輪ノ碑碣

高八尺  
五寸余慶長十九年正月二十三日ト彫刻ス是ナリ是

ハ亀井武藏守殿後妻ノ墓ナリ前妻ハ前ニイフ鹿久

継娘ニテ其腹ニ一男子如名鬼  
太郎ノ有ケルカ七歳ニシ

テ死去アリシカハ母堂コレヲフカクナケキ終ニ剃

髮禪衣ノ姿トナリ一生ヲ京都ニ終ラレケルトサル

ニ因テ武藏守殿後ツレシ玉フナリコレハ家臣多胡

宗次右衛門トイフ人ノ女子ニテ此腹ニ誕生アリシ

ヲ豊前守政矩ト称シテ亀井ノ家相續アリシナリ宗

次右衛門ハ武藏守殿ノ伯父ニテ其子ヲ多胡主水ト

イフ代々亀井家ノ執政ナリトソ

石入君御館之迹 城山西ノフモトニアリ石入君ト申

ケルハ播磨宰相輝政卿ノ四男松平石見守輝澄ト称

ス東照宮ノ御外孫ニテ真禪君ノ叔父君ナリ播州

宗衆佐用ニ郡六万石ヲ領知シ玉ヒ從四位下侍從ニ

昇進シ玉フ然ルニ寛永十六年家中不慮ハ騷動出来

テ御領知召上ラレ御當家へ御預ノ身トナラセラレ

タリ其トキ公義ヨリ堪忍料トシテ播州曾根ニテ一

万石下サレケルヲ御當家へ御収納ナサレ其替地ト  
シテ當郡ノ内一万石ヲ進セラレ鹿野へ移住シ玉ヒ  
ケルカ御薙髮アリテ石入ト自称セラレケリカクテ  
二十四年御謫居ナリシカ寛文二年四月十八日卒去  
シ玉フ享年五十九年トカヤ法名大雲院殿一開徹心  
大居士御遺言ニ因テ叡山へ御葬送アリテ當所真国  
寺トイフ寺ニ位牌ヲノコシ玉ヘリ其後御館ユボチ  
捨ラレ今ハ築山泉水ノ設ケノ迹ノミノコリテ旧墟  
ハ各ノミナリ勝見湯村ノ御茶屋ハ此材木ヲ引用ヒ  
玉ヒケルトソ享保五年鳥取ノ失火石黒ニ燒失シタ

ル真禪寺玄開ノ唐破風ハ御館ノ式臺ヲ具マ、ニ用  
タル造作ニテ今時ニハ珍シキ作事ニテアリシト語  
リ傳フ

石入君月見亭 ナカウ 中隍西ノ涯ニ其跡アリ石入君敷シマ  
ノ道ヲ嗜ミ玉ヒシカハ毎ニ此亭ニ歌賦玉フト或時  
鹿野八景ト云題ヲ作り玉ヒテ京都ノ竹内三位殿ト  
カヤニ其和歌ヲ頼ミ玉ヒケル

其題ニ曰

洞谷 月 母木片帆 少林晚鐘  
水溪晴嵐 鷺峰残雪 勝鳩夕照

玉川夜雨 城地寒鷺

是ナリ此中城地寒鷺トイヘル題ニ

水鏡ニテヤヤミナン白鷺ノ身ノシラ池ニ

ツハサシヲレテトナン関ヘシハ石入君詠玉フト

云傳ヘタリ此外郡中タマク御自筆ノ和哥ヲ持傳フ

アリ別卷ニ載之

東照宮之廢迹 石入君館舎ノ西ノ山下ニ町ハカリニ

アリ是ハ石入君此地ニ御坐アリシトキ御勳氣ノ御

身ナカラ正シク神君ノ御外孫ニマシクケレハ御

神靈ヲ勸請ナサレ朝暮御崇敬アリシナリ其比神事

ハ勝宿ノ社司飯田某コレヲ執行シ春秋二時ノ祭祀

怠リナシトカヤ石入君ノ後ハ其事断絶シケレハ宮

社ヲ勝宿本社ノ後ニウツシ奉リテ末社ノ一神トス

今モ勝宿明神ノ末社ノ中ニ東照権現ノ神号アル

ハ其故トイヘリ旧地ハ陸田トナシテ社司ノ所得ト

ナリヌムカシハ御神影モマシクケルカ行方ナクナ

リ玉フトゾ

石入君御内室之墓 鹿野ノ町外東ノ田土ノ中ニアリ

四方ニ土子ヲツキカタハラニ古松三本銀杏樹二本

アリ無縫塔ニテ上ニ題目ヲ書シ其下ニ天正院殿瓊

林貞松信女慶安四年辛卯十一月十六日能登守正武  
建之ト彫刻セリ是ハ讚州高松ノ城主生駒讚岐守一  
正ノ息女ニテ石入君ノ御内室ニテオハセシガ此地  
ニ卒去ナサレシナリ其比此所ニ真国寺ト号スル古  
刹ノ有シカハ其寺ニ御葬送アリシナリ其後元禄十  
三年ニ真国寺ヲ鳥取ヘ引玉ヒケレハ此地ハ忽チア  
レ野トナリ行キ余ワツカニ三及三畝余ノ田圃ノ中  
ニ古墳ノミ残リテ是ヲ真国寺迹トイヒ傳フルナリ  
サテ真国寺ハ鳥取治工坊<sup>イモジマチ</sup>ニ新刹ノ地ヲ賜リ天性山  
瑞光寺ト改号シテ真禅寺ノ末山トナシ鳳山ト云ル

僧ヲ住持ニスエ是ヲ中真ノ関基トセリ近年又治工  
坊ヲ轉シテ粟谷東ノ山下ニウツス今ノ瑞光寺是ナ  
リ按ニ興國寺ハ昔ヨリ臨濟宗ニテ黄檗一派ノ禅林  
ナリシ<sup>一</sup>雲龍寺ノ寺譜ニ見エタリ石入君ハ日蓮宗  
ニテ御一門ノ位牌ヲモ當ル妙光寺ニ安置シ玉ヘリ  
然ルニ此御方ヲハ禅宗ノ寺ニ葬リ玉フハ故アル<sup>一</sup>  
ニヤ但御自身ハ御遺言ニテ叡山ヘ御葬送アリシト  
ナレハ皆思召ヲ以テノ<sup>一</sup>ナルヘシ  
石入君御息女良姬君之墓 鹿奴ノ東北葭谷<sup>ヨシ</sup>トイフ所  
ニアリ是モ碑碣ハ無縫塔ニテ正面ニ題目ヲ書シ臺

石ニ法名ヲ彫刺ス雪窓院殿日梅大姊正保四年亥十月十八日施主松平米女正直建之ト是ハ御母堂ヨリ先ニカクレ玉ヒシヲ妙光寺ニ御葬送アリシナリ施主米女正直トアルハ能登守正武君ノ初名ニテ良姫君ノ御舎兄ナリ石碑都度ノ高サ一丈ハカリ別卷ニ圖アリ

湯次郎右衛門墓 同所南丘ニアリ石碑ハ五輪ナリ總高サ七尺ハカリ妙法蓮華經ト五級ニ彫刺シ臺石ニ法名ヲ書ス寶相院覺理日意大德慶長二十乙卯年三月四日ト見エタリ右ノ傍ニ曰佐々木末孫雲州住人

湯次郎右衛門尉源元辰石塔也舎弟湯采女正源元綱敬白ト三行ニ注セリ是ハ龜井氏ノ家臣ニテ旧ハ一族ナリ葭ヶ谷ハ妙光寺ノ境内ナリ

松平右京大夫政綱君之位牌 凌泰山雲龍寺ニアリ法名雲龍院殿涼岫蔭公大居士寛永八年七月廿九日トアリ是ハ此地ニ卒去ナリシニハアラス石入君御身君ナルヲ以テ石入君御謫居ノトキ當寺ハ御安牌ナサレシナリ雲龍ノ寺号ハ此法名ヲ称スルナリ但シ寺ハ寛弘八年一條法皇ノ追福ノタメ當郡ノ知主中納言紀氏郷ノ建立ニテ双林山無上大涅槃寺ノ旧迹

十リ中古頽廢シケルヲ天正十八年讓傳寺九代忠岳  
宗恕禪師再真之其時仰雲山涅槃寺ト号ス慶長中凌  
恭寺ト改ル事故有テ亀井武藏守殿法名凌恭院ヲ称  
ス今又凌恭山雲龍寺ト号スルハ兩侯ノ法号ニ擬レ  
ルナリト

小式部産湯之水 鹿野ノ東田土ノ中ニ小丸山トイフ  
一丘アリ此山下ニ小式部産湯ノ水トテ小キ池ノア  
リシト是ハ昔和泉式部京都ニ在テ某ノ胤ヲ妊ナカ  
ラ當国ニ皈リユカリ有テ此里ニ小式部ヲウシ其身  
ハ又京ニ登リケルカ小式部三歳ノ時使来テ都へ連

皈リケル其ウマレケルトキ彼池水ヲ産湯ニカケ、  
ル故傳へテ小式部産湯ノ水ト云トイヘリ按ニ和泉  
式部ハ高草ノ湖山人ナリ後京へ登リ一條院六代  
御ノ后上東門院ノ女房并内侍タリ後ニ和泉守橋道  
負ノ妻トナリ小式部内侍ヲ誕リ道負死シテ後丹波  
國藤原保昌ニ改嫁セリト然レハ道負ニ別レタル代  
ノナリナルニヤ當国ハ古郷ナレハサルナリ有マシキ  
ニアラス小丸山ト号スルハ多分ウチユボナリ山ノ  
形ワヅカニ残レリ或ハ万人坑トナシ其周圍皆田圃  
トナリテ今ハ池ノ迹ト云所モ定カナラス



獅子舞山 同西ニアリ孤山ナリ其形獅子ノクルヒ伏  
タル如クナレハ名クト又鹿園白妙集ト云記録ニ曰  
孝元五年辛卯鷲峰ノ三神獅子胡馬ニ駕テ聳岡ニ天  
降被麻シテ神遊ス其詞ニ曰多賀貴屋摩安利富満幸  
威満幸愛敬幸獅子胡馬不用トクリカヘレウタヒ犬  
ヲ放テ鎮山土俗此神獅子舞ヲ不用トテ祭祀ニ獅頭  
ヲ不振ハ其故ナリ其聳岡トハ獅子舞山是ナリト云  
云白妙集トイヘルハ當取雲龍寺ノ記録ナリ是何ノ  
書ニ出タル故事ニヤ  
佐久良谷観音寺之旧迹 西谷ノ奥ニアリ其地ヲ櫻谷

トイフ昔ハ櫻樹アマタアリシト寛弘年中殿村ノ郷  
士紀氏郷ノ女櫻姫トイヘルカ直相ノ觀世音ヲ拝セ  
レトヲナカレ毎ニ六時ノ礼拝怠ルトナカリシカ下  
夜禪定ノ牀ノ前ニ光明ヲミルアヤシシテ其光ヲミ  
タヒ行ニ此谷ニ到リケルニ樹下ニ觀音大士ノ妙相  
アサカニ現シタマヘリ佛勅有シカハコレニマカセ  
テ側ナル櫻樹ヲ以テ其拝スル所ノ尊容ヲ自ラ彫刻  
シ此処ニ寺ヲ建立シ施無畏山觀音寺ト号シテ彼本  
尊ヲ安置スト数百年ノ後郡主亀井氏其寺ヲ鹿野ノ  
城下ニ引移サレケル今ノ縛屋町ノ觀音寺是也ト云

リ委シクハ彼寺ノ縁起ニミエタリ

靈龜山大應寺之旧迹

水谷村

在鹿野坤  
方三町許

奥一町余

西側ノ山下ニアリ人王六十五代

花山院入覺法皇

田園行脚ノトキ藤原栴茂ト云人入道シテ御迹シタ

ヒタツ子求ルトイヘドモ御行方シラス當郡青屋ノ庄

ヨリ養郷ノ坂ヲ越此里ニ至リ草庵ヲ結ヒ止宿シ當

所住吉ノ神ヲ祈ル或氏前川ヨリ小亀一ツ匍上リテ

庵室ニ入ル其夜ノ夢ニ亀ノ去ル方ヘユクヘシト栴

茂イフカシク思フニ翌朝カノ亀向北テ出ツ教ノ如

ク栴茂北国サシテ行脚シケルカ越前ノ国今井ノ城

花見ノ岡ト云所ニテ回リアヒ奉リケルト靈龜山大

應寺ハ其栴茂住ケル庵迹ト云傳ヘタリ白妙集

山名源七郎殿之墓

右同所大應寺ノ山下ニアリ自然石無銘ノ碑碣是十

リ是ハ近世當国ノ守護職山名左馬込誠通ノ嫡子十

リ幼歳ニシテ父誠通ノ家ヲ督キ布勢ノ屋形ト称セ

シカ永禄六年ノトカヤ家臣武田又五郎高信謀叛

ニ囚テ鳥取ノ城ヲ押領シ豎横ニ逆威ヲ震フ國中コ

レカタメニ穩ナラス日ヲ追テ屋形ノ武威ヲト口ヘ

此辺モ境ヲ侵スノ聞アリシカハ當郡鎮護トシテ源

七郎殿布施ヨリ鹿奴ノ城へウツリ玉へリ高信コレ  
ヲ弑セニテヲ計ルニ以女誘之終ニ鹿奴ノ城ニ於テ  
毒殺セリ源七郎殿今年二十三歳トカヤサシモ一國  
ノ屋形ト呼ハレシ其碑碣モ賊臣ノタメニ國中動乱  
シコレナン修造セシニ其イトマ無リシニヤ法名モ  
記サス只自然石ノ碑ノミ叢中ニ独立セルアリサマ  
懐古ノ涙ヲ催シ又其トキ屋形ト同年ナリシ岩村某  
トイフ麗臣主人ノ病中死期ノアリサマヲ見テカノ  
女ノ所爲ナランテヲ察シテ女ヲ切殺シ其刀ニテ腹  
切テ失シトナシ其墓モ其側ニアリ石ヲツンテ塚ト

十ス此地旧寺迹ナルヲ以テ塚迹アマタ紛乱トシテ  
明ニ知カタシ按ルニ民談記源七郎殿遺骸ハ水谷ノ  
回龍寺トイフ古寺ニヲサメ墓ヲ築クト然ルニコノ  
地ハ靈龜山大應寺ノ旧迹ニテ今モ字ヲ大應寺ト云  
フ回龍寺ハコレヨリ奥小畑村旁ルニアリヲモフニ  
回龍寺ニ葬送シテ遺骸ヲコノ地ニ安措セシモノカ  
住吉大明神 水谷村東ノ山丘ニアリ山地境内長百五  
十間横百十間本社方ニ一尺余神樂所方ニ間花表石  
柱南ニムケリ昔ハ五間四面ノ宗社ニテ魏々タル拜  
殿モアリシト古キ扉ニ

言ノ葉ヲ午向ノ麻ニヒキハヘテ身ヲスミヨシノ  
神ニマカセント詠タル和哥ノアリシトナニ以前  
ハカタハラ茶師堂モアリシト本尊ハ住吉明神ノ本  
地佛ニテ往古ハ奥ノ院ニアリシトカヤ是ハ慶長年  
中凌恭寺ノ忠岳和尚四月七日摘華ノ序ニ此谷隘ニ  
テ木佛ヲ得テ一字ヲ建立シ瑠璃山茶師寺トナツク  
然ルニ寛永ノ末比華嚴坊トイヘル山伏彼堂ニスミ  
ケルカイツレカ本尊ヲ京都へ負去テ失ヘリ其後堂  
宇モ破レ今ハ迹サヘ知レズナリス  
回龍寺之旧迹 水谷村ニアル觀音堂コレナリコノ寺

往古ハコノ谷奥岩宮谷トイフ処ニ在テ回竜華嚴寺  
ト号シ或ハ華嚴山回竜寺ト号セシトキモアリシト  
カヤ是ハ岩倉谷ニ岩権現トテ熊野ノ神ヲ鎮シ奉ル  
石宮アリ其別當寺ニテ文應弘長ノコロハ鑛倉ヨリ  
供領トシテ坂本郷ニ於テ百石寄附アリシ古刹ナリ  
シトソ然ルニ天正ノ逆乱ニ供領没到<sub>レ</sub>寺モ迹ナク  
ナリシ<sub>レ</sub>日久シ近世元和年中凌恭寺<sub>前</sub>雲竜寺ノ怨閑  
トイヘル僧回竜寺ヲ再興ノコ、口ニテ此処ニ辻堂  
一字ヲタテ昔ノ本尊トテ石体ノ觀音<sub>相傳云聖ヲ安</sub>  
置セリト其後御国換ノトキ凌恭寺無住トナリシカ

ハ此里ノ巖了坊トイヘル山伏彼堂ニ住ヲノレカ有  
トシテ昔ノ寺号ヲナラヒ華嚴坊トイヒ或時ハ回龍  
坊ト自称シケルカコレモスキサリ住モノモ十カリ  
ケルカ宝曆二年雲竜寺ノ住侶梅嶺トイヘルカ古迹  
ノ廢セルヲ惜ミ再真之今岩見山法竜寺ト号スル草  
堂コレナリ昔ノ本尊石佛ハ如何ナリ玉ヒシニヤ今  
ハ木像ノ千手觀音ヲ安置シ因幡順礼三十一番ノ札  
所トス按ニ今岩見山轉号スルト此寺ノ旧地ヲ呼ト  
云イフカシ其旧地ハ岩宮谷ナリ是ハ熊野権現ノ石  
宮アルヲ以テ斯ハ称スル也土人岩見谷トイフハ岩

宮谷ノ訛リニテ見ノ字更ニ其拙ヲシラス

小畑村 土俗云奥水谷村

戸數三十軒 辻堂 本尊毘沙門天王

氏神住吉大明神 在水谷村 祭日九月廿日

岩之権現

古城 号コノ城 一名躍見ノ城

水谷村ノ奥十町余ニアリ鹿野ヨリ十八町トス鷲峰  
ノ北ノ谷ニテ鬼入道へ越ルヲ山神越トイフ十五町  
坂道大難所ナリ

岩之権現 水谷村ノ奥 小畑下ヲ西へ入ル支谷ノツマリ

岩ニアリ其地ヲ岩宮谷トイフ鷲峰山東北ノ半腹ニシ  
テ水谷ヨリ十七八町ノボルナリ其山腹ニナラビタ  
テル巨岩八九箇アリ中ニ大ナル巖ノ高サ七丈許リ  
竹筒ノ立タル如シ其中間左右へ通りタル穴アリ形  
細月ノ如ク深ニ丈三尺穴口高六七尺横ニ尺許ニテ  
人一人漸々ニ通ルへシコレ熊野権現ノ旧迹ニテ土  
俗岩之権現ト称シ或ハ権現岩トモ称スルナリ又其  
左右ニナラヒタル大石低キアリ高キアリ其低キハ  
一丈余高キハ二丈或ハ三四丈ニ及へリソノカタチ  
筒切ノ如クニテ横文アリ或ハ二重或ハ三重譬諭セ

ハ磨臼ノ重レルニ似タリ石上平ラカニテ廣サ各方  
一丈四五尺ナリ各丈尺自怪石ト謂ツへシ参詣ノ人  
山腹ヲタトリテ其石上ニ上リ中ノ巖穴へ入テ左ヨ  
リ右ノ方ノ石上ニ出ルナリ又其下ニ三十間ニ竈リ  
岩ト号スル巨岩アリ是モカタチ相同シテ山上ヨリ  
崩レ落タル如クニ三箇横サマニ打重テ平地ト岩ト  
ノ間廣サ五六疊ニテ人匍匐シテ入へシ信心ノ行者  
ハ此岩下ニ通夜ヲナシテ祈念ス此外ニモ巨石所々  
ニアリカタチ皆相同シ是此地ノ天工ナリ何ノ世ノ  
勸請ナルニヤ時代知人ナシ昔ハ賢首ノ傭流於此所

海印ヲ修シ華嚴ヲ以テ為勅負享年中鹿奴ノ土人権  
現岩ノ辺ニテ千午ノ銅尊ヲホリ出セリト大工町住人佛九郎  
兵衛然レハ當時堂宇モ有シトエタリサテ又此神大  
ニハヤリ五フアリ寛延三年ノ春ノ比トカヤ當郡  
木梨村ノ百姓コノ神病氣ヲ祈リシカハ奇瑞アラタ  
ニ痼病タチマ千金愈セリト其事郡中ニノ流布トナ  
リケル間我モ人モ思々ニ病苦ヲ祈リケルホドニ恭  
篋七日ニシテ盲目ハ杖ヲステ下向シ膝行ハ足ヲ踏  
ナラシテ下山シタリトド風聞日ヲ追テ弘ク國中ハ  
云ニ及ハス後ニハ伯耆出雲但馬播磨美作備前ノ辺

マテモ其沙汰カクレナク恭詣ノ群集日夜ノワカチ  
ナクタトヘハ蟻ノ熊野詣スルトイフニヒトシク夥  
シ常ニハ人烟絶タル深山ナルニ俄ニ仮屋ヲ立ツ、  
ケ篋屋ヲシツラヒ酒食ヲ商賣フコト繁花ノ市ノ如  
ク山上山下ニ町並ヲナセリ今モソノアト依然トノ  
コレリ其年ノ秋ノ頃マテハヤリ玉ヒシカ其後次第  
ニ恭詣ノ人少クイツシカ旧ノ如ク雲霧窈冥ノ地ト  
ナリ又サテ其時ノ散錢散禾其数知ルヘカラス積テ  
丘ヲナセリ然ルニ此神昔ヨリ権現トイフ神号アレ  
トモ今ハ主ナキ捨石ノ如クナレハ此散錢ノヤルカ

タナキニヨツテタレモカレモ其錢ノホシサニヤ宿  
村ノ社人ノ云ケルハ水谷村ハ勝嶋ノ幣下ナリ然レ  
ハ伊和権現ハ北方ノ持宮ナリト又鹿奴ノ修驗三光  
院ハ是ハ熊野権現ノ鎮迹ニテ此地ハモト山伏ノ加  
行ヲツトムル行場ナレハ北方ノ支配ナリト云出シ  
テ双方アラソヒノ端トナリヌソレニツキテハ取  
申分多端ニナリ終ニ奉行取ニ訃ヘタリ然レトモ元  
未野山ノ権現岩ニテ今更何ヲ證據トスヘキナキ水  
カケ論ナレハ奉行取ニモ是非ノ一決ナリカタク先  
散錢ハ小畑村ノ庄屋ヘアツケ置ヘシ追テ裁判アル

ヘキトノ一ニテ爭論タチマチ止ヌト土人ノ口碑ナ  
リサレハ某ノ神ハ某ノ社入某ノ佛ハ某ノ修驗ノ支  
配トナラハ毎ニ參詣ノ人ハナカラマクトモ折節ノ  
祭祀執行ノコ、ロアラニハ今コノ爭論ハアルヘ  
カラス鎮迹ハ神ヤラ佛ヤラ一生ヲ夢ニ過シ只コノ  
散錢ニ打ヲトロキニハカニ公事訃訟ニ出ケルハカ  
子テノ不信心ノ罪ヲ自ラ白状スルニ似テイト突止  
ト謂フヘシ

未用村

或作未持

ニツ家

法楽寺

金山

木入道

或作入道

戸数五十五軒

辻堂本尊觀音



氏神 稻荷大明神 祭日 九月九日

久慶山法樂寺 曹洞禪本寺 鹿野雲竜寺 當領

本尊茶師 長當郡七佛之内七番也 行基作

興國寺之旧迹 在ニツ江

古城ニ 釜谷城 牛房山城 別卷詳也

水谷ヨリ十町余東ノ谷隘ニアリ村ヨリ鹿奴へ十町

ナリ但し末用村ハ谷ノ口西側ニアリ其奥五六町ニ

アルヲニツ家トイフ法樂寺金山ハ末持川ノ向東側

ニツキテ村ト村トノ間五六町ナリ木入道ハ金山ノ

奥十町ハカリニ在テ其ヨリ奥ニ民家ナシ此谷ノツ

マリトス此谷ハ西方ハ鷲峯山ノナタレ尾ニテ東側

ハ高草郡ノ境洞谷峠ヨリ矢矯ノ無毛山其奥ハ野坂

ノ河内ノ峯通ナリ末用ヨリ洞谷崎マテ十三町 其内坂道

十一町 峠ヨリ洞谷村へ十五町五十間 此内坂道ニナリ 町十六間

是ヲ洞谷越トイフ鳥取ヨリ鹿野へノ街道ニテ其間

ニ末用川有テ歩渡リス 川廣四間流 下曰羽田川 伯耆中道通り是

ナリ此峠ニテ晴天ニハ隱岐國ニエ又木入道村ノ下

ヨリ東へ越ルヲセシツカ 此トイフ高草ノ境ニテ矢

矯ノ毛無山ノ下午ヲ越ルナリ木入道ノフモトヨリ

峠マテ七町峠ヨリ矢矯村へ十五町スベテ廿二町十

リ但シ此方ヨリ登レハ道嶮シ峠ヨリ高草ノ方道工  
ルシ町数自蹈試ル所ナリ

稻荷社 此里ノ氏神ナリ長保三年辛丑歲六十六代一  
奈院御宇

五畿内疫病殺入山陽山陰倒五穀失種子郡民祈テ當

郡ニ七社ノ祭神廟其長社也宣說詞曰天太神分魂御

食保神合身成貴分身成福五穀精祖而鎮於万歳飯成

山云云是ヲ以テ其年八月上旬ノ日立社和光光本ノ

溪間ヲスキ白砂ノ灘頭ニ融ス小社微ナリトイヘ氏

目ノ觸ル、死兀トシテ神樹緑々々リ翌年壬寅ノ春

法樂舎ヲ立ツト雲竜寺ノ記録ニシエタリ

久慶山法樂寺 木用ノ少シ上向法樂寺村ニアル茶師

堂是ナリ此ハ昔僧ノ行基行脚ノトキ當郡ニテ一樹

ヲ刻テ七躰ノ茶師トナシ郡中所々ニ寺ヲタテ安置

之土人コレヲ七佛茶師トイフ當天法樂寺モ其七寺

ノ中ニテ本尊ハ七番目ノ佛ナリト中古此寺頽廢ノ

後本尊ヲ辻堂ニウツレケルカ慶長年中鹿奴ノ雲竜

寺ノ末山トスト又白妙集ニ長保四年壬寅ノ春稻荷

ノ法樂舎ヲ立ル本尊ハ四十五代聖武帝天延年中長和

瀬ノ沖ヨリ綱裏ニ入テ出現ス郷民奉抱テ養郷ノ坂

ニ投シテカヘル何モノカ又イタキ来テ此稻荷ノ森

ノ中ニスツ後ニ法樂舎ノ本尊トス當郡七佛茶師是  
ナリ何人カ法樂舎ヲ法樂寺ト号シ里ノ名トスルヤ  
始ハ堂宇西ニ開キ東ヲ後ニスト雲龍寺記録ノ趣ナ  
リ此記ニ拠テミルトキハ七佛茶師トイフハ當郡七  
社ノ稻荷ノ神廟ノ法樂舎ニ安スルヲ以テカクハ称  
スルニテ土俗巫謂行基一木七躰ノ説ト異ナリ按ス  
ルニ右記録 聖武帝天延年中海中ヨリ出現ストイ  
ブカシ 聖武ノ御宇ニ天延トイフ年号ナシ天平ノ  
アヤマリナラン天延ハ六十四代 圓融帝ノ年号ニ  
テ 聖武帝ヨリ二百四十五年ヲクレタリヲモフニ

行基ハ 聖武ノ朝ノ人ナレハ土人口碑ノゴトク其  
以前ニ寺ヲタテ佛像安シケルヲ後来ソノ寺滅却シ  
本尊海中ニ没シ玉ヲナルヘシ然ルニ 圓融帝ノ御  
宇天延年フタ、ビ出現シタマヒ當郡叢中ニヲハシ  
ケルヲ後二十年餘長保中法樂舎ノ本尊トナシケル  
ナラン郡中七所ノウチ六所ハ皆寺号ヲ存ス當巫ノ  
ミ法樂舎ト号スルハ往古ノ寺号ヲタハラサル故ト  
ニエタリ白妙集ト云ハ近比聞書ノ記録ニテ玉石混  
淆ス傳聞ノ誤リナラン

神和山神光寺ノ旧迹

白妙集ニハシメテ稻荷ノ宮ヲ此所ニ築クツノ、千  
十年ヲ経スシテ社地ヲ今ノ所ニ改ルト按スルニ是  
モト寺迹ナリ當時行基七佛ヲ安置セルト云ハ此寺  
ノトモニヤ

千本塚 千本トイフ処ノ道ノ側ニアリ昔神光寺ノ辺  
ニ尼寺アリ伯刈車尾ノ尼寺ノ流ナリ今モ一反余ノ  
尼屋舗トイヘルアリ常尼僧三十余人有テ菩提ヲ營  
ム其比墓ヲ千本ノ地ニキツク故ニ千本塚トイフ尼  
寺和歌ヲモテアワビシトイフ所千本ノ近辺ニアリ  
ト白妙集ニミユ按スルニ千本塚トイフ所今明カニ

知レス雲龍寺門前ヨリ末用ノ方へ通ル道ノ側六千  
墓トイフ一丘アリ石地藏ヲ安置ス道ノ側ナレバ此  
事ナルニヤ外ニボルルナシ

権僧正由心之墓 木入道村民家ノウレロニアリ宝經  
印塔ヲ安ス土民木入道ノ墓トイフコレナリ或記録  
ニ由心ハ和州吉野ノ勸僧ニテ大徳ノ人ナリ南朝ノ  
建徳年中本京之應安 吉野ノ佛閣兵革ノタメニ修羅ノ地  
トナリテ圓頂頭陀ノカタキハ堅甲利兵ノスガタト  
ナリ三学滅盡シテ白及骨ヲケツル故ニ由心山ヲ下  
リ伯刈三徳ニ入テ竊居スルト二年ソレヨリ鷲峰ニ

詣テ古佛谷ニ住居シテ一把ヲ蓋フ僧正佛像ヲ彫刻  
スルニ妙手ナリアルトキ鷲峯ノ社宮ヨリ晒木三本  
ヲ得テコノ谷ニ於テ觀音ノ像ヲ彫刻ス其一躰今村  
裡ノ正像ナリトフノ、千高草郡野坂ノ羊腸タル路  
外ニ柴庵ヲ結ビ居ス今其アトアリテ稼田四畝ニ歩  
土人三徳ノ田ト云傳ヘタリ後又未用ノ山奥ニ入テ  
住ケルカ老病ヲ抱テ終ニコノ所ニ寂セリ故ニ墓ヲ  
築テ塔ヲタツ常ニ隨士アリ春木入道トイフトモニ  
勸僧トナリ同居シケルカ是モ三四年ノ、千ニ死ス  
トイヒ或ハ此地ヲ出去ルトモイフ春木入道ハカレ

ユニ化シユ、ニ乞テ道ヲ造リ橋ヲ渡ス中比但馬回  
ニ往テ山居スツノ地ヲ春木村トイフ造ル所ノ道路  
ヲ春木坂トイフト此里ヲ木入道トイフハ春木入道  
トノ畧語ナルニヤ又由心ノ二字ヲ合シテ筆形鬼ノ字  
ニ似タレハ鬼入道トアママリイフニヤ此所ハ人烟  
タヘテ狐猿ノ街ナリ人家ノ居スルハ元龜年中ナリ  
ト由心ノ塔ニ梵字アリ苔封シテ不見コノ塔ニ金雉  
雌雄銀沙一囊朱砂一餅ヲ埋テ後未得之者三徳ヲ建  
立スヘシト云送リシトイヒツタヘタリト今コノ村  
ノ辻堂ニ安スル觀音ヲ拜スルニ坐佛長一尺バカリ

右空宇ニシテ左ニ蓮華ヲ捻シ玉ヲ充モ莊嚴ヲ加ヘ  
タリト虫ニ其躰相ノ殊勝ナルト言語道断也。是由心  
ノ造レル所ノ正像ナルニヤ

坂本郷七箇村

下坂本村 沖村 三軒屋

戸數八十軒余 辻堂六  
茶師 觀音 阿弥陀  
毘沙門 地藏

氏神竹宮大明神 祭日  
梅應山大泉寺 曹洞禪本寺 母木大竜院

靈火

當村ハ母木ノ谷奥常松村ト坂本川ヲヘタテ、西ニ  
アリ是ヨリ奥ニ谷ニワカレテ東ハ光本谷西ヲ坂本  
谷トイフ母木ヨリ鹿奴ヘカヨフ本道ナリ村ノ下ヨ  
リ西ニ越レハ日光谷ヘ通ス其坂ヲ越路坂トイフ坂  
本ノフモトヨリタフゲマテ一町余小坂ナレドモ甚  
ダ急峻ナリ日光ノ方ハ路ユルク平地ヲユクガゴト  
ク打越八町余ナリ勝見湯村ヨリ吉岡ノ湯村ヘ通フ  
道ニテコレヲ中道コシトイフ沖トイフ支村田ノ中  
ニアリ中沖トイフハ今ニ本木村ニ属ス旧大村ニテ

坂本ハ上下二村ナリ昔ハ辻堂ハツアリシト近世亡  
所ニ因テ今上坂本ノ名ヲ失ヘリ土人口碑ニ天正ノ  
比トカヤ此里ニ坂本助左衛門ト云巨農アリ田圃三  
十六町ヲ耕稼シテ其比庄司ノ如ク越十クヲユリテ  
キハム郷中其下知ニシタカハサルハナシ常ニ藤布  
ノ白幡ヲ作テヲノレカ心ニ欲スルトアルトキハ其  
幡ヲ立テ近縣ニ告之郷民應シテ来リアツマルト鳥  
鶴ノムラカル如シカ、ルメテタキ家柄ナリシカ日  
比驕奢ヲホシイマ、ニシ法ニスキタルフルマヒ氏  
多カリケレハ亀井武藏守殿トキ刑戮セラレテ其家

忽チ断絶セリコノ里ニモスム人モナカリケルカ十  
余年ノ、テ勝部郷苔川村ヨリ百姓二人仁左衛門來  
與佐衛門  
テ開田シテ一邑今ニ及フトイヘリ或説ニ亀井殿雲  
刈ヨリ當郡ニ流落シタヨリ少ナキ折カラカノ家ヲ  
訪ヒ玉ヒケルニ幾度モアレ主人薄情アヒシラセケ  
リカヤウノトドモ兼テニクシトヤオボサレケン文  
祿四年三月六日武藏守殿後者ワツカニ十人アマリ  
召具シ坂本が家ニイタリ自ラ主人ヲカラメトリ而  
シテカノ幡ヲウバヒ門前高クサシアケシカハ郷民  
ヤカテキソヒ来リケルヲ亀井ノ家人塩沼某大塔寺

某等カタハレヨリコレヲトリユニス叔カノ主人ヲ  
ハ高草ノ野坂ノ郷士竹内国重トイフ者子孫於今松  
ニ引渡レケレハ三枚板ヲ以テ助左衛門ヲ狭ニ殺セ  
リト云傳ヘタリ

靈火 當村ノ上二本木村ト土居村トノアヒタニアタ  
リテ夜野外ニモユル火アリ土俗靈火トイフ月ノア  
ル夜ハミエス雨ノ夜多クハコレヲミル或ハ此谷ノ  
村々所々ニワカレ散テ定カナラス人近ツケハナシ  
遠クノヅメハ明ナリ故ニ其火ノ起所ヲ知ラスト或  
ハ坂本ノ沖村ノ古墳ヨリモへ出ルトイフコノ墓ハ

亀井殿時代刑罰セラレシ坂本助左衛門カ葬所ナレ  
ハ其靈魂コノ地ニトマリ嗔恚ノホムラ散スル所  
ナク土中ヨリ昇發スルナラントイヘリ按スルニ此  
類國中亦ニアリ他國ニモ亦多シトワノ地幽谷或ハ  
海辺或ハ野外墳中ヨリモユルモアリ屯モ温泉ノ地  
脉或ハ金銀銅山硫黄山等ノ辺ニハ猶多シトイヘリ  
ワタヘキク越後國蒲原郡入方村ニ陰火有テ火地中  
ヨリ出ルト今コレヲ民家ノ庭ノスミニカマエテ石  
ヲ以テコレヲオホヒ其石ニアナヲアケテ炬火ノ如  
クシ或ハ大竹ノ筒ヲ孔ニハメテ火ヲトナリニトル



晝ハ陽ノタメニウハ、レテ光ナシ毎夜増減ナクシ  
カモコレガタメニ物ヤケス取謂地ノ陰火是ナリト  
其外野火燐火等ノ数説異同アリト虫モ大都天地ノ  
間色々ノ不思議アル一靈火ノミニモアラサルヘシ  
取詮凡智ノ計リ知ルヘキ一ナラ子ハ又フシギトス  
ルニモタラス

二本木村 中沖

戸数十九軒 辻堂二奉尊茶師 地藏

氏神勝嶋大明神 在宿村 祭日

寶殿之松

下坂本ヨリ上二町西側ノ山下ニアリ村ノ西ヲ山越  
スレハ勝見谷ノ岡井村へ通シテ九町アマリナリコ  
レヲ岡井越トイフ峠ヨリ岡井ノ方へ五町余リ而モ  
道ヨロシカラス

寶殿之松 村ノマヘ田ノ中ニアリ木ノ大サ二圍余ノ  
古松ナリ木フリイカニモ物フリタリ土俗ニ具地ヲ  
ゴウデン或ハゴウウデントイヘリ御宝殿ノ鄙言カ  
ソノ辺田土ノ字モシカイフナレハ昔祭神ナト有シ  
其アトナルニヤ是ヨリ二三町上ニ櫻ノ老樹アリシ  
ト今ハ枯テナシソレトコレトニモトノ木ヲヨレテ

里ノ名トストイヘリ然レハ古名ニアラス旧ハ坂本

ノ内ナランカ

重高村 前上 片山

戸數二十三軒

氏神勝島大明神 在宿村 祭日

杉原重高之墓 山伏本性院 三寶院 派

二本木ヨリ四町ハカリ奥ニアリ西側ニ属ス此里ノ

土俗ニ狂言歌舞伎ノモノマ子ヲナセリ重高万歳ト

テ人專ラ壯觀トス近世當郡濱村ニ名譽ノ歌舞伎役

者アリ後ニ江戸ヘ往テ名ヲ大ニ癸ス元祖瀬川菊之

巫ト云レハ是也屋号ヲ濱村屋ト云ケルモ其謂レト

云リ是土地ノ風俗ナルニヤ

杉原重高之墓 今ソノ所明ナラス鹿奴雲竜寺受宕山

ノ記録曰弘治年中杉原盛重ノ嫡男重高入道号元當

郡ヲ賊領シ當社ヲ没倒シテ居城ニセントス天刀イ

タリ立テ自縊ス今重高村ニ古墳アリ士民壞テ麻畑

トスト按スルニ杉原播磨守盛重ハ備後国神辺ノ城

主ナリ天正年中吉川元春ニシタガヒ當国ニキタリ

無ニノ忠貞ヲハゲミケルカ終ニ當郡ニ病死セリ其

子二人アリ兄ヲ元盛弟ヲ景盛トイフト陰徳太平記

ニエタリ弘治ハ天正ヨリ二十年モ以前ノ一十レ  
ハ其比重高トイヘル嫡子アリテ當郡ヲ押領シコノ  
所ニテ死ケルナラン想フニ今此里ヲ重高ト号スル  
ハ其名ヲ呼未ルモノナルヘシ然レハ古名ニアラス  
旧坂本ノ内ナランカ  
土居村 沖土居

戸数二十三軒 辻堂本尊地藏

氏神勝嶋大明神 在宿村 祭日

樹應山正壽寺 曹洞禪本寺母木村大竜院

重高ノ奥三四町ニアリ村ノ上ハヅレヲ西へ越レハ

勝見ノ妙見谷へ通ス打コシ七町ハカリナリヒへ谷  
坂トイフ當村本名片山ナリ故ニ片山土居トモイフ  
然ルニ片山今ハ重高ノ内ニツクノイフカシ土人ニ  
トヘトモ其故不分明想フニ寛文以来片山村絶テ土  
居ヲ本村トシ後重高ヨリ片山ノ古地ニ出村シケル  
故如此カ

宿村 中伊勢 上伊勢 新田

戸数二十八軒 辻堂

氏神勝嶋大明神 祭日九月十九日 延喜式神 各帳載之鹿奴神社是ナリ

社領十六石四斗五升

觀音堂 勝宿明神腰掛石 觀音堂ノ境

土居ノ上四町余ニアリコレヨリ鹿奴へ十三町ナリ

鹿奴雲龍寺ノ記録 集白妙ニ宿村ハ 村上天皇第六ノ



延年中 王宮ヲ出當郡ニイタリ此里ノ叢屋ニ宿リ

勝宿明神ノ下ニ注ス 又故ニ宿村トイフト 虚誕ナリ委シクハ寺内村

勝嶋大明神 中伊勢村 宿村ノ川向ヲ乙山ノ山腹ニア

リ境内二百五十間四方本社 方一間兩扉附 拜殿 豎ニ

三鐘樓 方七尺鑄鐘之 花表 石柱 銘曰魏魏兩柱以象陰

陽至哉神德万世有光 在右柱 寶曆六年丙子秋九月日

一行因居長久氏子繁栄 一行 惣氏子建立之 左柱ニ彫刻

セリ因ノ字國ノ字漫滅カ或説ニ片嶋明神或ハ勝四

間或ハ下伊勢大明神トモイヒケルト按スルニ中伊

勢トイフ地名アレハ下伊勢トイヘルモアルヘシ是

地名ヲ称スル神号ナラン片嶋明神ハ勝嶋ノ記謬カ

勝四魔勝四間ハ勝嶋ノ仮字ナランカ延喜式神名帳

ニ載之因幡國五十座ノ内當郡五坐ノ一神志加奴神

正社是ナリ委シク別卷神社考ニ注之

勝宿上郷五個村

玉川村

戸數三軒

氏神勝宿大明神在寺内村祭日

土産茶

鹿奴ノ西六七町玉川ノ西ノ平地ニアリ以前ハ玉川ト流砂川トノ間ノ中洲ニアリシ孤村ナリ其地見渡シ一町余長サ四五町ノ河原ナリ昔ハマダモ廣カリシトカヤ年々洪水ニ川脉定カナラスイワシカ土地狭クナリシカハ近年民家ヲ川ヨリ西ニウツセル也

玉川ハ流砂川ト源ハ一ツニテ河内ノ谷ヨリ流レ下

テ當村ノ上ニテワカレテニ流トナル東鹿野ノ方へ流

ル、ヲ流砂川恒河トイヒ西へワカル、ヲ玉川トイ

フ村ノ下ニテ兩流一ツニ合テ坂本ノ谷へ落ルナリ

鹿野下玉川トイフ川高草郡ニモアリ有富谷ヨリ發

経テ千代川へ當所ノ玉川ハヒサシキ名義ニアラス

トイヘリ民談記曰亀井殿此辺ノ山ニ多ク茶ヲ植ラ

レタリ唐ノ世ノ詩人盧仝茶ヲコノシテ茶哥ヲ作ル

殊更一世ノ名詩ナリ盧仝シツカラ玉川子ト称ス此

名ノ字ヲ自ラ茶ノ所産ノ地ニ合タルモ面白ク侍ル

或ハ亀井殿茶ヲ植ラレレノキ此名ヲ改メツケラレ  
タリトイフ人モアリト以下又雲龍寺ノ記録ニ此所  
以前ハ森川原トイフ雲州玉造リヨリ善四郎トイフ  
モノ未リ住ス武牧カレガタメニ茶園トナシテアタ  
ヘシハ其園今田トナル然レトモ元未畑ナル故水道  
ナシ玉川先生ガ歌ニ曰平生不平事盡向毛孔散ト玉  
川ト号スルハ武牧以爰云尔トナリト記セリ以上或  
説曰茶ヲ植タレバトテ玉川子ニ比シテ玉川トイフ  
コト音語ヲ和訓ニ云カエテ玉川子カ事ニ聞ユヘケ  
ニヤ巧ニスギタル了簡ト云ツヘシト又或説ニ貞享

年中此地ニ櫨ノ木ノ有ケレハ滝川一貞ト云人六所  
玉川ニハ和歌ヲ賦シ名所也イサコトニモ歌ヨマン  
トテ櫨木ニ狂歌ヲヨミテ付タリト  
コムクロジノ黒キハ娑婆ノコノミナリクダキテミ  
レハ面白ノミヤ  
今市村

戸数七十軒余  
氏神勝宿大明神在寺内村  
圓光山松泉寺曹洞禪本寺鹿野讓傳寺  
觀音堂因幡山伏吉祥院

玉川ヨリ八町余下ニアリ伯耆中道通りニテ鹿野ヨ  
リ十二町四十間其アヒダニ川ニソアリ流砂川廣サ  
三間皆カチワタリナリ村ノ中ニ街道アリマスクニ通  
リテ左右ノ家並城下ノ町ノ如シ亀井武藏守殿葬送  
今トキコノ道ヲ作ルトイヘリ當村ノ東ノ方ニ玉川  
ノ末流アリ水クハチサ葛苴或水ヲ生ス早春ノ末ヨリ川底ノ  
石ノアヒダニ生ス其カチチ鷄兒腸ニ似タリ當所ニ  
三町ノアヒダニアリテ其上下ニ十ニ遙ニ川上鷺峰  
村ニモアリ

寺内村

戸數十七軒 辻堂  
氏神勝宿大明神 祭日九月廿一日  
社領三十九石六斗九升三合

神主 飯田氏

祢宜 戸板氏

久昌山長安寺

曹洞禪本寺鹿野讓傳寺

寶照寺之旧迹

中古爲辻堂今号  
茶師堂或曰奎正寺

本尊茶師

坐像長三尺許行基作  
當郡七佛之第四番也

同大塔之迹

有礎

野溪山 飯田森

明里鼻

明里谷

明里谷

亀井武藏守茲矩之墓 在明里

今市ノ下九町ニアリ街道ヨリ西ノ山下ニ属ス寺内  
ト号スルハ昔勝宿明神ノ別當寺宝照寺トイフ寺ノ  
境内ナリシ故ナリトゾ

勝宿大明神 村ノ前竹林ノ中ニ鎮坐アリ延喜式神名

帳載之加知弥神社コレナリ祭神中殿彦火々出見尊

左鷓鴣草菅不合尊右玉依姫ノ三座ナリ本社 三間四方神

樂所 横二間半 鐘樓 七尺 隨身門 左三間横二間 花表東

向 石柱高一丈 隨身門ヨリ花表ニ距テ一町半左右松

原ナリ其アヒダニ川ニ汎横流ス 廣各一丈許有石橋 末社十一

神内 六社 境社地廣サ東西二百間南北百間郡中ノ長

社ナリ古来此地ヲ飯田森ト号ス林木生シゲリ木立

モノフリ殊勝ナル景致ト謂ツヘシ今ノ社ハ寛文十

三年ノ再興ナリ内陣ノ扉ハ永禄八年武田高信矢田

幸佐田公高清等カ建立ノトキノ扉ニテ其後兵火ニ

カ、リテ表ハ一面ニ焦爛シ或ハ矢ノ穴太刀ノ割ア

マタアリ裡ニハ亀井武藏守殿樂書十ト殊勝ニモノ

フリタリ社司口碑ニソノコロノ兵乱ニカノ扉ヲ引

ハツシテ楯トナシケル故是ノニ残リテ其余ノ宝物

傳來ノ社記等宮社ト、モニ燔滅セリ今アル所ノ唐



織ノ戸帳双節ノ竹玉石等又社地ニ枳椇木アリ圍ハ尺余  
是等ハ之十亀井殿朝鮮飯陣ノトキノ土産ナリトイ  
ヘリ雲竜寺ノ記録畧曰勝宿明神ハ人王六十三代  
村上天皇第六ノ皇子勝美ノ親王ヲマツリ奉ル国記  
曰當郡ノ知主紀氏郷ノ女櫻姫ハ扶桑無比ノ美粧十  
ルヲ遠ク聞テ意慕シワイニヤマヌ後玉命ヲ以テ  
招スレ氏姫天然佛心ニ便テ不嫁天延三年王子ヒソ  
カニ玉宮ヲイテ此郡ニ到テ叢屋ニ宿ス其所ヲ今宿  
村トイフ王子習ザル旅行ニ勞倦テ病ヲ發ス從者カ  
ナシニ菜ヲモトムレドモ医ナク終ニ郡主ニ訟之知

主氏郷父古大納言氏常入道ハシリ来テ親王ヲ輦ニ  
ノロ殿村ノ館ニ入奉ント供奉シテ小阪ヲユソノ  
坂ヲ神越山トイフ而シテ野溪山ニイタル親王半途  
ニシテ其所ニ薨ス昔ニ天延三年六月二十一日ナリ  
其後三霜ヲヘテ貞元二年九月下浣奉祝勝美神社宿  
寶聖宮此トキ至神託勝上勝玉扈從曰飯ニ出王舎野  
溪ノ魂トナシス鎮ニ国人之爲寶照四時夫治故勝宿  
寶照推現トモイヒツタヘタリト今ノ社地飯田ノ森  
ハ百年ノ後築宮以下畧按スルニ勝美ノ王子此里ニ  
薨シ玉ヲ下往事知ルヘカラサルノ有マシキニモ

アラザルヘシ然レドモソノ靈ヲ祭テ勝宿明神トス  
ルノ一説妄談ナリ當社ハ延喜式神名帳ニ載之加知  
弥神社ト号スルハ是ナリ加知弥ハ勝見ノ仮書ナリ  
古来此谷惣名ヲ勝見郷トイヒ里ヲ勝宿村トイフ故  
ニ加知弥ノ神社ト称シ或ハ勝宿ノ明神ト称ス是上  
世地名ヲ呼ノ神号ナリ今勝宿郷寺内村ト云ハ近代  
變名ニテ古ノ義ニアラス  
或曰當郡ハ勝見王子落命ノ地ナルヲ以テ專テ勝ノ  
字ヲ用テ地名トス勝部勝見勝山勝宿勝寫等ニ十其  
故ナラントカノ記録ニミエタリ是モマタ無稽ノ妄  
誕トハ謂フヘシ勝部勝見ハ和名鈔ニ之ヲ出セリ和

各鈔村上天皇御宇ノ書ニテ尤モ其時代同シトイヘ  
トモ天延以前天曆年中源順 勅ヲ奉シテ上古ノ古  
實ヲ輯録セルト明ラケク異論アルニアラス想フニ  
勝美勝見和訓相同シケレバ後世附會シテイヘルナ  
ラン勝見温泉由来記ト書タル一卷ヲミルニコノ辺  
ノ事蹟ヲ埒モナク書ツ、リタリ勝宿明神ハ何ノ世  
ノ王子タランカ紀氏郷女ヲ意慕シコノ地ニ到テ懇  
情ノ契ヲカハシ五ヒケルニ或時コノ姫鹿奴ノ奥水  
谷トイフ所ニテ當ヲ脱ソ口ヘテ消失セヌ王子再ビ  
帰京シ給ハスコノ所ニ幽居シ玉フ社ニテ上代神階

ニマシマス神ナリト記セリ是モ同説評スルニタラ  
ズトイヘドモ昔カラコノ辺ニイヒナラハセルト  
コエタレバ勝見親王ノ故事モ迹ナキ虚言ニモアラ  
サルヘシモシヤコノ辺末社ノ神ニ祭祀セルコトモ  
アリテ勝宿ノ神ト混淆シテイヘルニヤ此類所々ニ  
アリテ事ノ實ヲウシナフト多少ナラス高草郡松上  
ノ神靈ヲ叡山ノ座トイヒ邑美郡行徳ノ聖大明神ヲ  
遊行上人トモ高野ヒジリヲマツレルトモイフタグ  
ヒナランカ

寶照寺之旧迹 村ノ裡ニアル茶師堂是ナリユレハ昔

勝宿明神ノ別當寺ナリト本尊茶師如来 坐像長三尺余 行基  
ノ作ニテ郡中七佛第四番ノ一躰ナリトイヒワタヘ  
タリ中古退轉ノ、千本尊ヲ辻堂ニウツレ昔ノ寺号  
ヲ呼テ寶照寺ト号ス今ハ茶師堂トイフナリ堂前街  
道ノホトリニ塔ノ礎トイフ大石アリカタハラ石地  
藏ヲ安置ス石ノ大サ 高二尺五寸余周 正中ニ穴アリ  
徑一尺 寶照寺塔ノ心柱ノ礎トイヘリ當時ハ魏々々  
ル大寺ナリシトコエタリ雲竜寺ノ記録ニ巖家ノ寺  
ニテ古キ棟札ニハ真言家ノ筆記アリト院内一町ニ  
及後ニ民家ノ敷地トナル故ニ寺内村トイフトアリ

近世讓傳寺十三代ノ住持永麟トイフ僧宝照寺ノ廢迹ヲ與シテ今ノ久昌山長安寺ヲ建立セリ正保慶安兼應ノ間トイヘリ宝照寺ノ寺号土人ハ幸正寺ト書來レリ何レカ是ナルニヤ按ニ勝宿神社兩部習合ノトキ宝照権現ト崇稱ストイフ説アレハ宝照寺ナラシカ宝照ノ音コウセウニ相近キヲ訛リ後ニ幸正ノ文字ヲ充タルモ知ルヘカラス

木地佛 十一面觀音尺長三勝宿ノ社中ニアリトイマダ其  
實否ヲシラス雲竜寺ノ記録ニ寶照寺ノ本尊ナリ  
觀音免トテ今猶アリ享保九年三月雲竜ノ佛出叟社

司飯田横津ニ申請テ雲竜寺ニ安置スト土人ノイヘルハサニアラス寶照寺本尊ハ茶師ナリ是ハ兩部習合ノ時ノ木地佛タルニ因テ後ニ氏子取返シテ旧ノ如ク社内ニ納メタリト

野溪山 飯田森 勝宿明神ノ後西ノ山ヲ野溪山トイヒ鎮坐アル所ヲ飯田森ト号ス又鳥居ノ向フ東ノ山ヲモ野溪山トイヒ其山ノ後松林鬱茂ノ地ヲ飯田森トモイフ宿村ト勝宿村トノ間ノ山ニテ毎歲九月祭事ノ時角カ真行アル所ナリ東西ニ同名ヲ稱スルト如何ナル故ニヤ土人口碑ニ勝宿明神ハジメハ當所ヤケイ山ニ鎮坐ナリシヲ後ニ山下

今ノ社地ニウツシ奉ルト按スルニ土人ノハシメ當  
所野溪山トイフハ宿村ノヤケイ山ヨリ當所ノ山ニ  
ウツリ玉ヒテノチ又山下ニ遷坐シ玉フナルヘシ故  
ニカノ地ノ名ヲ此地ニウツシテ同シ名ヲ称スルナ  
ラシカ今宿村ノ祭神勝嶋明神按社ノ中荒神一社勝  
宿ノ末社トス又勝宿祭事ノトキ宿村ヨリ仕丁十五  
來リテ神輿ヲ守護スル古來ノナラハシトス是等  
ノコトヲ以テコノ神モト宿村ノ祭神タルノ支證ト  
スヘシ宿村ヨリコトタヘ越ル山路ヲ神越坂ト号ス  
ルモツノカミ遷坐ノトキ越ヘ玉フ清路ナルヲ以テ

カクハ称スルナラン又里ノ名勝宿ト号スルモ宿村  
ヲ本トシタル名義ニテ勝見郷ノ宿村トイヘル畧語  
トミエタレハ明神遷坐ノ謂モト一邑タルノ故十  
ルヘシ凡神号地名ヲ呼モノ尤モ多シ又神社ノ名ヲ  
以テ称スル所モアリ往事懇焉タリ事ノ實考ヘカク  
シトイヘトモ勝宿ノ神ト号スルハ村有テ後ノ神号  
ナラシカ神名帳加知弥神社トアレハ此地ニウツリ  
玉フトイフモ其日久シキ事ナルヘシ

明星<sup>カ</sup> 村ヨリ上ノ山端ノ名ナリ野溪山ノ南ニテ一  
段ヒキク山上平ニ亀井武藏守殿ノ墓所トス雲竜寺

ノ記録ヲミルニ讓傳寺九世宗恕和尚アル日黎明戸  
ヲ開テ坐ストキニ子丑ノ方ニアタリテ明星數星ヲ  
引テ降ル禪師往テ其所ヲミルニ鷄<sup>ウダバ</sup>ノ下篠竹山ノ  
フモトナリ潤泉シバラク金色ナリソレヨリ其地ヲ  
明星谷トイヒ其谷ノ流レテ明星水トイフ禪師思ヘ  
ラク上世和州玄真<sup>按</sup>僧正トイフモノ金色ノ流光  
スルヲ見テ沂音羽山於其所覆茅待有力外護而建清  
水<sup>仰</sup>監<sup>予</sup>亦習大同嘉例於此地<sup>俾</sup>保<sup>残</sup>生<sup>蹟</sup>ト記セ  
リ<sup>畧</sup>按スルニ宗恕和尚ハ弘治以降天正ヨリ元和  
ノアヒタノ人ナリ亀井武藏守殿皈依僧ニテ今三十

餘石ノ寺領ハコノ和尚ノトキ寄附セラレシナリト  
イヘリ然レハ明星鼻ノ名義ハ久シキトニアラス又  
土人ノイヘルハサニアラス是ハ往古勝宿明神鎮坐  
アリシ所ナルヲ以テ明神カ鼻トイフナリソレヲ明  
星<sup>鼻</sup>或ハ名字カ鼻トモアヤマリイフトイヘリ何レ  
カ是ナルモシラス  
亀井武藏守茲矩之墓 右ニイフ明星カ鼻ニアリ本道  
ハ山ノウレロ山宮村ノ方ヨリ登ル石碑南向ニシテ  
高サ一丈ハカリニ重臺坐ニテ上ノ石垣方二間高サ  
一丈余下ノ石垣三間半四方高サ五尺玉垣方四間高

五尺十リ但シ木ニテ作ル法名中山道月大居士ト碑  
面ニ彫刻セリ本姓ハ江源佐々木氏十リモト雲州玉  
造湯ノ住人十ルヲ以テ初名湯新十郎國綱ト称ス尼  
子家ノ浪士ニテ元龜二年當頭ニ来リ山宮村ノ百姓  
井村覺兵衛トイフモノ、家ニ寄宿セリトキニ十七  
歳十リ井村モ、ト雲茄ノ浪士ニテ同国ノ千十ニア  
ルヲ以テ之ヲ養育スソノ、千山中鹿ハ幸盛カ婿ト  
ナリ尼子ノ旧臣亀井氏ノ家ヲ相續シテ亀井武藏守  
茲矩ト改ム天正ノ初秀吉公ニ属シ軍功ニ因テ氣多  
一郡ヲタマハリ鹿野ノ城主トス慶長中

東照宮ヨリ高草郡ヲ御加恩アリテ兩郡ノ主ニ封セ  
ラル同十七年壬子正月廿六日五十七歳ニテ卒去ア  
リシト十リ其初明星カ鼻ニ居宅ヲ設テ住居アリシ  
故其地ニ墓ヲ築クト云傳ヘタリ位牌ハ鹿野讓傳寺  
ニアリ委シク別卷図式ニシユ  
中園村 土居 鉢居

戸數二十二軒 辻堂本尊茶師  
氏神勝宿大明神在寺内村  
古城号觀音 城主之古墳在土居村  
寺内ヨリ五町下ニアリ其アヒタニ鞍懸トイフ妙見

ノ支村アリ妙見村ハ是ヨリ下向フ東ノ山下ニアリ  
又當村中園ヲ妙見村トモイフ土人ノ口々其故ヲシ  
ラス按ニ當村ノ内西ノ山際ニ妙見谷トイフ所アリ  
ムカシコノ地ニ妙見社アリシ故ナリ今東ノ山下妙  
見村ニ之ヲ祭ル想フニ中古争乱ノ世ニ宮社コノ地  
ニ安穩ナラス東ノ山下ニ遷坐シ玉フナルヘシ然レ  
ハコノ地モト妙見村ノ内ニテ鞍掛以上三村トモニ  
一邑トミエタリ妙見ト鞍掛トノアヒダニアレハ妙  
見ノ中園トイフ義ナルニヤ土人ノ口々ナルモ其故  
ナラン凡郷村里ノ名ニ東西上中下或ハ奥口ノ差別

ヲイフハカタハラ同名ニ對スル義ナリシカルニ中  
園アリテソノ上下東西ニチナシ名ノナキハ其謂レ  
ナルベシ

古城 村ノウシロニアリ 観音山ト号ス木梨子村藤山  
ノ出城ナリト又東ノ山下土居トイフ支村アリ民家  
ノ後園竹林ノ中ニ古墳アリ大ナル五輪三基アリ一  
基ノ高六尺一寸二基ハ蓋石ト墓坐ノミナリ是ミナ  
観音山城主ノ墓トイヒツタヘタリ此地ヲ土居トイ  
フハ観音山ノカマヘ土圍ノ内トイヘリ安永年中民  
家ヲ建ケルトキ土中ヨリ鯨ノ骨ヲホリ出シケルト



別巻古城部詳也  
及因式アリ

妙見村

戸數二十三軒

氏神勝宿大明神 在寺内村

同 妙見社 在村裡祭日  
社領五石四斗

中園ノ下十町余ニアリ東ノ山下ニ属ス或ハ宮方村

トモイフ古キ御圖帳ニ妙見谷村ト云是モト中園

ノ内妙見谷ニアリ云故ナリ

勝宿下郷九個村

岡井村

戸數二十三軒 辻堂 本尊地藏

氏神勝宿大明神 在寺内村

大日堂

妙見ノ下十三町余ニアリ村ヨリ東へ山越スレハ二

本木村へ十二町ナリ岡井坂トイフ日光谷ノ頭ヲ越

ルナリ

木梨村

戸數二十軒 辻堂二 本尊地藏  
観音

氏神勝宿大明神

古城 号藤山城 若宮 上青木 下青木

中園ヨリ下二町半ニアリ民家ハ街道ノ東西平地ニ  
入アリ妙見村ヘ七町十リ

古城 西ノ山上十リ城主ハ木戸豊後守トイヒツタヘ  
タリ村裡ノ若宮ハ幡ト号スルハ城主ノ靈社トイヘ  
リ上ノ青木下ノ青木ト云アリ木戸ノ家老二ノ墓  
誌トイフ一人ハ大倉三右衛門一人ノ名ハ傳ハラ  
ス 別卷ニ委シ

重山村

戸數五軒 辻堂 本尊 観音

氏神勝宿大明神

木梨ノ下九町ニアリ梶掛村ト東西ニ相對ス

梶懸村

戸數十一軒

氏神勝宿大明神

岡井ノ下六町許ニアリ東側ニテ重山ノムカフ十リ  
村ノウシロヲ東ニコユレハ日光村ヘ五町十リユノ  
道ヲ寺谷越トイフ村ノ上ニ竹谷越トイアリ打コシ  
十町ハカリ十リ

湯村

戸數六十軒

氏神勝宿大明神

安寧山長泉寺 曹洞禪本寺鹿野讓傳寺

茶師堂本尊茶師如未 立像長燈明米二斗四升 長泉寺持

御制札場 在村 御茶屋 御馬場

温泉 一之湯 二之湯 三之湯

古城 号勝山城 切通

重山ノ下八町ニアリ西側ニ属ス夕、レ伯州中道ヨ

リ五町余南ニ入ル所ナリ温泉有テ勝見ノ湯ト称ス

鳥取ヨリ行程四里半ナリ村ノ下ノ口 濱村ヨリ 御制

札場アリ其餘目曰

一留湯上家中之徒若黨下々入申間敷事

附 惡病之者制禁之事

一他國之輩ハ不及申湯治之面々留湯之鍵無滞廻レ

可申事

一湯賃一七日一人五分宿賃七分々ルヘキ事

一湯屋之内先町中無懈怠掃除可仕事

一宿借候儀兼約日限之外三日者可相待三日過ルニ

於テハ餘人上借可申事

一湯沼之輩喧嘩口論有之時ハ取之者出合扱可申事

一他國ノ者ニ對シ所ノ者無礼仕問敷然上ハ喧嘩口  
論仕候共理非等同シ分ハ取之者可越度事  
右此旨可相守者也

享保七年五月朔日

トミエタリ入境而問禁入國而問俗入問而問諱トハ  
曲禮ノ所載ニテ孟子モ臣始至於境問國之大禁然後  
敢入トノ玉ヒケルハ斯ノ如キ制禁ノ旨趣ヲ相心得  
フヘシトノ教ナルヘシ此余ノ教条之ヲ畧スコノ地  
温泉イツノ世ヨリハジマレルトイフコト明ナラス  
土人相傳フ往古コノ辺大ナル水沢ナリシトキ或日

白鷺一ツ片足クケタルカ飛来リテ沢ノ辺ニ下リ  
居テウゴカス日ヲヘル十五日程ヲホヘケルカ其  
足イヘテタキマキ快鳴シテ飛去リヌソノ比今ノ古  
町ノアタリニ村落アリテ民屋ワヅカニカゾフルバ  
カリナリシカ村民アヤシミウタガヒ往テ其所ヲミ  
ルニ果シテ温泉ノ涌出セルアリ聽テコレヲ湯池ト  
ナシナヅケテ鷺湯トイフコレコノ温泉ノ起元ナリ  
トワノ、千中古ノ乱逆郡縣ヲアラフコト棄ヒ村民離  
散シ湯池モ名ノミニテ尋ヌル人モ無リシカ近世ノ  
郡主龜井武藏守殿カノ沢ヲ埋テ新田トナサレケル

ソノトキ湯井ノ辺ノ栖居ヲ造リナラベテソノ地ヲ  
新町ト号シケレハ昔ヨリアリツル方ヲ古町ト呼ケ  
ルトゾツレヨリ湯池モ數ツヒ自国他国ノ人来リマ  
ツマリ湯浴昼夜タユルマモ十ク賑ヒノ地トナレル  
一今ニ及フトイヘリ

湯井五箇所

一之湯 湯壺廣五尺四方ナリ湯脉茶師堂ノ下ノ岩下  
ヨリ涌イヅルヲ陰樋ニテコレヲトル尤モ底ヨリモ  
涌出ルトズリ湯色至テ潔白ナリ  
二之湯 湯壺ノ底ヨリ涌沸セリ一之湯ヨリアツシ少

シ硫黄ノ臭アリテ湯色清カラス

三之湯 當所イヅレノ湯ヨリモアツシ以上三湯ヲ留

湯トス諸士ノ外湯浴ヲユルサス浴室ヲ子ニ錠ヲ下  
シ鑰役アリテ鑰ヲアヅカリ順々ニコレヲマウス故  
ニ錠湯トモイフ土入口碑ニ昔ヨリ三之湯ト号シテ  
湯井ノカタキハアレトモ湯ヌルクシテ浴スルモノ  
十ク只水タマリノ如クナリシヲ石入君鹿奴へ御坐  
アリシトキ兼應二年トカヤコノ湯ヲ御覽シタマヒ  
以前ヨリ三ノ湯トイフ名アレハ昔ハ用ニ立ケルニ  
テユソアルラメトテ村翁氏ニ仔細ヲタツ子サセタ

マヘドモ有無ヲ申上ルモノモ十カリシカ其比鳥取  
城下ニ多閑院トイヘル山伏ノ水脉ノ事ニ功者ノキ  
コヘアリシカバカノ修験ヲ召寄ラレ湯井ノヤウス  
ヲ見セシメ玉ヒケレハ是ハ土中ニ大石アリテ湯脉  
ヲサマタケヌルヲモヤアラント申シタリサラバト  
テ役夫ニ課テツノ底ヲホラシメラル已ニ一丈余モ  
ホリケルガ果シテ巨石アリ是ヲホリノゾキケレハ  
タチマチ熱湯拾漙ト涌出タリ即チ工匠ニ命シテ方  
五尺ハカリノ甬ヲユシラヘ底ニ板ヲ打ナラベ譬諭  
セハ替箱ノ如クニツタリテツノアトニ嵌テ湯壺ト

十セリサルニ因テサナ下ヨリ底ニ至テ其アヒダ三  
尺ハカリモアラシカ以前ハマダモ深カリシトイヘ  
リカノホリノキタルモサバカリノ大石ニモアラス  
一ノ湯向ナル工匠カ後園井子川ノ垣根ニ捨レル三  
四尺ノ石アリ是ナリト云傳ヘタリ

入ユミ湯ニ之湯ト相ナラシメテ湯源モ一ツナリ外ノ  
湯ヨリモ少シアツシ以上四ヶ所古町ニアリ

鷺湯 新町ニアリ當所温泉起元ナリイマハ當村土人  
ノ入ユミ湯トス以上五ヶ所ナリコノ浴室ノ壁間ニ

貼スル文言曰

お母へ

一此湯は内へは来々者土豆にて入へり

き事

一や好く仕へるの類手は能洗ひ入へ

き事

一悪病之者弗可入事

以上

月日

又ユノ湯ノスコシ西ノ方民家ノウシロニ一ヶ所アリテ新湯ト号スコレハ寛延年中関基ノ湯ニテ當所

五ヶ所ノ内ニアテス按スルニ凡當國ノ中往古ハ温

泉數ヶ所ニアリ中古断絶スル所少カラス今アル所

ノ温泉ハ岩井巨濃郡吉岡高草郡湯谷在八上郡曳田郷別卷八上郡下詳勝

見以上四ヶ所ナリ其名湯ト称スルハ岩井吉岡當所

トモニ三ヶ所ナリ當所ノ湯ハ岩井吉岡ノ湯ヨリモ

又ルシ然レドモ硫黄ノニホヒナク味鹵ク潮氣アリ

テ湯火ヲダヤカナリコレ皆疾家ノ妙用其症ニ隨テ

切ヲ奏スヘシ實ニ陰陽不測ノ神水ナリ

姫ヶ石 一ノ湯ノ中ニアリヒラタキ青白ノ斑石長一尺七寸許厚四寸余

是ナリ土人口碑ニコレハ亀井武藏

守殿幼推ノ御息女ヲトモナヒコノ湯ニ入玉フトキ  
湯壺深フシテ御幼女湯ノ中ニ立玉フトナラス亀井  
殿イカニモシテトマ思レケン浴衣ノマ、ニテ茶屋  
ノ縁端ニアリケル踏石ヲタツサヘ其マ、湯中ニシ  
ツメ御幼女ヲシテ其上ニ立シメラレタリサリトテ  
ハヨキ程ニアリシカバ亀井殿今ヨリコノ石ハ姫カ  
石ナルツト申サレケルトナシソノトヲ傳ヘテ今ニ  
サハイフトイヘリサルトモアリシニヤ天明ノ中比  
石州津輪野ノ家中細尾氏カ妻女近縣山宮村ノ百姓  
覺兵衛カ家ニ止宿ノ折節コノ湯ヲ一見シ姫カ石ト

イフハ今ニアルヤト問フ村民云云ノト答ヘタリシ  
カハサテハコハ石ナルヤトテ懐古ノ涙ヲ催シケル  
トゾ當所温泉ノ由来記ニハ鳥府ニ岡村某トイフ医  
入湯ノトキ口ニ灌頂ノ呪ヲ唱ヘ所勞ノ治ヲ念シケ  
ルトキ湯ノ中ニ化女現スルト度々ニ及ヘリ不思議  
ニ思ヒ其所ヲ尋子ケレハ其下美シキ石アリコレヲ  
姫石ト名ツケテ茶師堂ニ竈ケルカ誰人カヌスミケ  
ン行方シラスト書タリ外ニモ其云石モアリケルニ  
ヤイブカシ又一ツ黒キ大ナル石アリ是ハ成徳院君  
別封壹岐 寶永年中御入湯ノトキ湯中ニ入置玉フト  
守仲澄君



云傳ヘタリ

茶師堂 一之湯ノ上ノ山腹ニアリ本尊茶師如來長

當山靈驗集曰御湯ノ神ト申スハ大

已貴命少彦名命ニテオハシマス本地ハ東方瑠璃光

如來ナリ昔ノ本尊ハ乱世ニ取失ヒテ行方シラス草

堂ニ麓作ノ茶師佛ヲ安置セシナリ今ノ尊像ハ宝永

年中ノ御寄附ニシテ佛龕ノ扉ニ御紋所アリ前ノ茶

師ハ長泉寺ニ安置スト記セリ土人ノイヘルハ其ニ

アラス長泉寺ノ茶師ハ其寺ノ佛ナリ茶師堂ノ本尊

ハ往古ヨリ傳來ノ佛ナリ星霜ヒサシク彩飾剥落シ

タマヒシヲ寶永年中別封成徳院君御入湯ノトキ御

再真ナサレテ新ニ修飾ヲ加ヘサセ玉フナリ故ニ佛

軀ノ背上ニ御名ヲ書シ玉フハ則御捺筆ナリトイヒ

傳ヘタリ

御茶屋 大雲院君 薙髮号 鹿野ハ御座アリシトキノ御

館ヲ其マ、引移シテ建タル御造作トイヘリ其トキ

財木ノアマリニテ建タル民家四軒今ニアリ丸屋茶

ヤ澤田茶屋中ヤ茶屋豆腐ヤ茶屋トイヘリ他ノ造作

ニ事カハリ念ノ入タル普請ナリ

亀井氏筆迹 亀井武藏守殿湯沼ノトキ今ノ御茶ヤノ

庭ノ築石ニ温泉ノ二字ヲ書セラレシト云傳ヘタリ  
庭ノ岩組ノ大石ト大石トノアヒダノ奥ノ切崖ノ如  
ク十ル石面ニアリ文字ノ大サ三寸ハカリナリ然レ  
トモ二百年許以前ノ一ナレバ字形明ニハ見ガタシ  
水ヲツ、ギカクレハ温泉ノ二字有ヤ無ヤニミユ只  
此二字許ニヤ此外ニ在シモ不可知

切通 茶師堂ノウシロノ畑地ヨリ山ニ登レハ両崖戻  
風ヲ立タル如ク切ヌキタリコノ所ハ勝山トイヘル  
古城ノ迹アル山ノ尾ノ末ナリ昔沢田村ノ辺ヨリ湯  
村マテノ前後大ナル沢ナリシヲ亀井武藏守殿其沢

ヲ埋テ新田トセラレケル其時此所ヲ切崩シテ土ヲ  
取タル迹ヲサハイフナリ今ノ古町ノ下ナリヨリ埋出  
シ平地トナシ一條町ヲ作テ新田ト号シケル古町ハ  
三ノ湯ノ前ヨリ長泉寺ノ方へ通レル一條町ノ各ニ  
テ昔ノ村落ナレハナリ古町ハ年貢地ニテ新町ニハ  
年貢ヲ不知是其時ヨリノ定トイヘリ

勝山城 長泉寺ノ後山ナリ昔首藤豊後守ト云レ國侍  
數代相傳ノ城跡トイヘリ永祿年中雲州尼子氏ノ魁  
將尼子正久コレヲ追落シ入替テ城主トナリ居ケル  
カ天正ノハジメ亀井新十郎ノタメニ滅亡セリト初

主首藤ハヒサシキ武士ニテ近隣福田村ノ田圃ノ字  
ニ大通寺トイヘルハ首藤氏代々菩提所ノ旧跡ト云  
傳ヘタリ別卷ニ

福田村

戸數三軒

氏神勝宿大明神

同法權前在村裡

菊清水

宮司墓

湯村ノ新町ヲ西へ出山下ノ道ヲ五六町勝山ノウシ  
ロニアリ

菊清水

勝山西南ノフモトニアル井ナリ制札ニ曰

御植菊完鋪石石橋石垣取捨申問敷候

午九月

此ハ寛延三年庚午ノ歳ノナリシトヤ御分地

御入湯ノトキ凡テコノ辺ノ水鹵気ア

リテ冝カラストテ取々御センサクノ、ナ此所ニ井  
ヲホラセ玉フトナリ尤モ味其美ニシテ清瑩ナルコ  
ト磨セル鏡ノ如シ重サ茶甌ニ一ツニテ他ノ水ヨリ  
拭目一匁三四分輕シトイヘリ其時井辺ニ菊ヲ植玉  
ヒテ菊清水トナヅケ賞翫シタマヒケルト制札文言

御植菊ト書シハ其故ナリ今ニ至テ御入湯ノトキ御  
上リ水トスルハ是ナリ

宮司墓 當村旁尔大坂谷ト勝見谷トノ境ニ注進ヲ曳  
タル松二三株アリコレハ八幡村ノ八幡宮ノ社官戸  
板氏カ先祖戸板宮司孝安トイヒケル者ノ墓所トイ  
ヘリ孝安モト九州侍ナリシカ播州ニ於テ合戦ニ打  
マケ當郡新宮村ニ落来リ行坂藏人トイフ神職ノ家  
ヲ相續セリ後八幡村ニ別居シテ八幡宮ノ祠官トナ  
ル今モ新宮村ニ神主屋敷ト云ノアルハコノ宮司カ  
居ケル迹トイヘリ其時代明ナラス今ニ至テ五六世

トイヘハ余リ久シキトニモアラズ宮司未期ニ至テ  
云ケルハ我死骸ヲハ大坂谷ト勝見谷トノ境目ニ葬  
テ標ニ松ヲ植置ヘシ願望アル人我墓ニ詣テ懇ニ祈  
ラハ所願ヲ成就セサシムヘシト誓ヒヲナシケルト  
フ其事ヲ傳ヘテ土人今モ此墓ヲ崇敬シ諸願ヲカケ  
病苦平愈ヲ祈ルモノ多シ

澤田村

戸數一軒

氏神勝宿大明神

蛇持

湯村ヨリ三町ハカリ北ノ沙山ノ下ニアリ昔ヨリノ  
一軒屋ナリコノ辺往古ハ皆沢地ナリシヲ後未埋地  
トナシテ田土ヲヒラク故ニ沢田村トイフト今ニ  
沢田土ノ中水深キ沢アリテ慈姑ヲ生ス是昔埋殘シ  
タル処トイヘリ又此村ノ事郡ノ序文ニシルス如ク  
寛文郷村記ニ勝宿下郷九ヶ村ノ内傍所村ト書タル  
有テ沢田トイフ村名ナレ今ハ傍所ヲノヅキ沢田ヲ  
入レテ九ヶ村トスサテ此傍所村トアルハ何トイフ  
村名ナルニヤ傍ノ字彙字典等ノ書ニモ之ヲミズ  
キハメテ傳寫ノアヤマリ疑ラクハ傍カ傍カ傍カノ

字ナルヘシ然レトモ傍所正傍所トモ傍所トモ音訓  
トモニサイフ所郷中ニ無之民談記ニモ傍ノ字不審  
ナリシニヤ村々ノ租税ノ高ヲ書タル沢ニ傍ノ字ヲ  
闕テ所村トシテ高四百六石余ト記セリ然レハ其比  
ニモ其村名分明ナラストミエタリサレトモ書ノ次  
第ハ沢田村ニ當レリ又土人口碑ニ沢田村昔ハ民戸  
アマタアリ其土地モ廣カリシカ何ノ比ニヤ一村退  
轉シテ家一軒モナク荒野トナリシト久シ然ルニ寛  
文ノ比今ノ一軒屋新右衛門トイフモノ、先祖母木  
村ヨリ来テ沢田村ヲヒラクワレヨリ相續シテ今ニ

一軒屋ナリ其初ノ比ハ土地渺沔ト廣ク濱村ヨリ湯  
村ヲ見ワタシ小谷村ヨリ八幡村ノ八幡宮ヲ遙拝ス  
カノ一軒屋モ濱村ノウシロノ方ヘスガリテ有シカ  
年々沙漠堆積シテ家ヲウヅム故ニ次第ニ前ニクリ  
出シ栖居ヲ衰ル<sub>レ</sub>初ヨリ今ニ三四度ニ及フトイヘ  
リコノ口碑ヲ以テ民談記所謂租税ノ高ヲ合セ考ル  
ニ傍所村トアルハ沢田村ノ旧名トシエタリ今ハ村  
高百石ニ不足トイヘドモ昔ハ田圃廣ク故ニ戸数モ  
多カリシナラシ然レバ沢田村トイフハ寛文以後ノ  
新名トシエタリ其地久シク退轉シテ後母木ノ人未

テ此地ヲヒラク故ニ古名ヲ傳ヘサルナラシ寛文ヨ  
リ今ニ至テ百ニ三十年ナリ村里ノ名サヘ紛乱トシ  
テ考ヘカタル<sub>レ</sub>カクノ如シ傍所ト書タルハ何トイ  
フ村名ナルニヤ猶故実ニクハシカラズ人ヲマツノ  
ミ  
蛇持村ノ前ノ地際ヨリ勝見川ノ地ノ辺マテ其間凡  
二町ハカリノ川脉及ヒ土宇通りヲ限テ俄ニ地震ノ  
ユリ出スカ如ク地中カスカニ物ノ轟クヤウノ響ヲ  
オボヘテ忽チ平地破レテ土砂ヲ持アゲル<sub>レ</sub>タトヘ  
バ土中ニ物有テク、ル形ノ如ク其高サ三四尺バカ

リナリ其中ニ海藻貝殻ノタグヒ多ク交テアリ如此  
十ニ事五年三年或ハ十年十四五年ノ間ニ一度アル  
ヘシ土俗是ヲ蛇持トイフ此コノ辺ノ一奇事トス然  
ルニ近年其事タヘテナシトイヘリ村老口碑ニ海風  
徐徐ニ沙ヲ吹上ゲ上ノ沙山常ヨリ高クミユルト忽  
チコノ変ヲナス變アレハ高クモ復減シテ本ノ如シ  
コノ地モト水沢ノ埋地ナリ今モ土中ニ水脉有テ沙  
漠堆積スルニシタガヒ其重サ底ニ徹シメリコム故  
此ノ如クナルヤトイフ其理ヨク通ストイヘトモ強  
テ其理ヲ尋子求メテ知ルヘキニモアラス民談記ニ

モ巨濃ノ細川滝山辺ニモコノ事アリシトミエタリ  
コノ國ニアレハ諸國ニモ有ヘシ惣シテ此辺ノ田土  
ノ中ニワズカニ水府アリ昔埋残シタル迹トイフ水  
深フシテ耕作ナラス故ニ土人土沙ヲ以テ是ヲ塞ケ  
ハ又カタハラ地破レテ水府トナルワレトコレト事  
同シ是ミ十陰陽不測ノ小變ナリ其大ナルニ及テハ  
泰山崩レテ海ヲ没シ地裂テ江河ヲナスノ例往々多  
少ナラス大率天地ノ變易運動ノ道理トイヘハ又怪  
ムヘキトニモアラス

小谷村

戸數十軒

氏神勝宿大明神

祭日九月廿一日

名産芥

湯村ヨリ四町許濱村街道ノ東側ノ山下ニアリ村ノ上ノ山ヲ東へ越レハ日光村へ到テ五町余ナリ是ヲ中道通リトイフ湯村ノ正向フノ山ニテ峠ヲ鳥越トイフ中道ハ東ニコユベシ海手へ通レハ弓手ノ谷隘ニ下女カ池ト号スルヲミル日光傍尔ニテ其山鼻ヲ東へメクレハ日光ノ池尻ニ出ツ

芥

當所ノ名産ナリ土俗ニ大阪コウ子小谷芥トウタ

へリ村老口碑ニ昔ハ西ノ方ハ幡村ノ辺ヨリ東ハ梶掛村ノアタリ迄引廻シ平一面ノ沢ナリシカ後未皆田土トナル今ニ洲川ノ字アルハ其故ナリ元禄ノ比マテハ埋残シタル小沢所々ニアリ當村ノ辺ニハ深サモ許リ知リカタキホトノ水タマリ有テ芥ヲ生ス根ノ長サ尺ニ余レリ今ハ其小沢モ十クナリシ故昔ノ様ノ芥ナシトイへリ或説ニ興禪君ノ御時江戸ニ於テ御大名御旗本衆御参會ノ席ニテ當所ノ芥ノ根ノ長キ事ヲ御物語リ有ケルトキ他国ニモカホドノ根芥ハ希ナリシニヤ御一座ノ衆疑ハシキ顔色ニテ



挨拶アリシカハ君御心中ニ本意ナク思召ケシ其後  
急便ヲ以テユノ里ノ苜ノ根ノ長キヲ選取テ江府へ  
指越スヘシト仰付ラレケル故村方ノ御役人トモ隨  
分吟味シテ堀取ケルニ根ノ長サ三四尺ノ苜ハアマ  
タアリシカ其中ニ六尺ニ及ヒタル根苜ノ有タリケ  
レバ其マ、損セヌヤウニ調へ時付ノ飛脚ヲ以テ江  
戸へ指上ケル時ニ取前ノ御客衆ヲ御招請有テ先ノ  
日御咄シ申タル苜ヲミセ申サン言葉ニハヨセイモ  
有ヤスラント察シ玉フモ残念ナレハ國本ヨリ取ヨ  
セテ侍ルナリ御一覽候へトカノ根苜ヲ指出サセタ

マイケレハ御咄ニモ過タル珍物満坐コレヲ見玉ヒ  
興ヲサマサレケルトゾ

### 濱村

戸數五十八軒

氏神勝宿大明神

祭日九月廿一日

米倉

古城

小谷ノ北隣一町ハカリニアリ勝見谷ノ口ニテ北ハ  
海濱ニツバキテ伯州街道ヨリワカレテ南へイル所

ナリ路ノ左右ニ民家アリテ漁農屯居ス地理志曰自  
母木宿到濱村十九町十五間濱路母木川廣十間深一  
尺五寸可徒涉大水無渡人一日母木阪一町四十間道  
廣一間半ト按スルニ母木川トイフハ坂本川ノ末ニ  
テ本名鹿野川ナリ母木ノ旁ルニテハ母木川トイフ  
今ハ板橋ヲ渡シテ一求橋トイフナリ母木下又地理  
志曰母木坂ニツ出タリ初ノ一ツハ氣多高草ノ境ノ  
大山ナリ爰ニイフハ日光ノ山ツバキノ小阪ニテ海  
河ニ突出タル山鼻ノ下ナリ本名櫛カ鼻ト号ス出崎  
切崖ノ如ク岩石浪打キハニ落カサナリ或ハ抜出落

カ、リタル有テ碑碣ト危シ本道ハ坂ヲユエヘシ峠  
ニ里堡アリ鳥取ヨリ四里トス峠ヨリ當村マテ五町  
村ヨリ湯村へ十八町ナリ御倉所ニテ郡中ノ年貢米  
ヲ収納セリ村名古キ御回帳ニハ古淀村トミエタリ  
昔ハサモイヒケルニヤ淀トイフ地名國中所々ニア  
リ他國ニモ多シ餘戸ナリユレイニシヘ郡ノ大上中  
下ヲ分タルトキカヅヘ余リタル戸数ノ村名ナリ淀  
ニ作ルハ訛謬ナリ首卷ニ詳ナリ

Faint vertical text columns on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading.



